

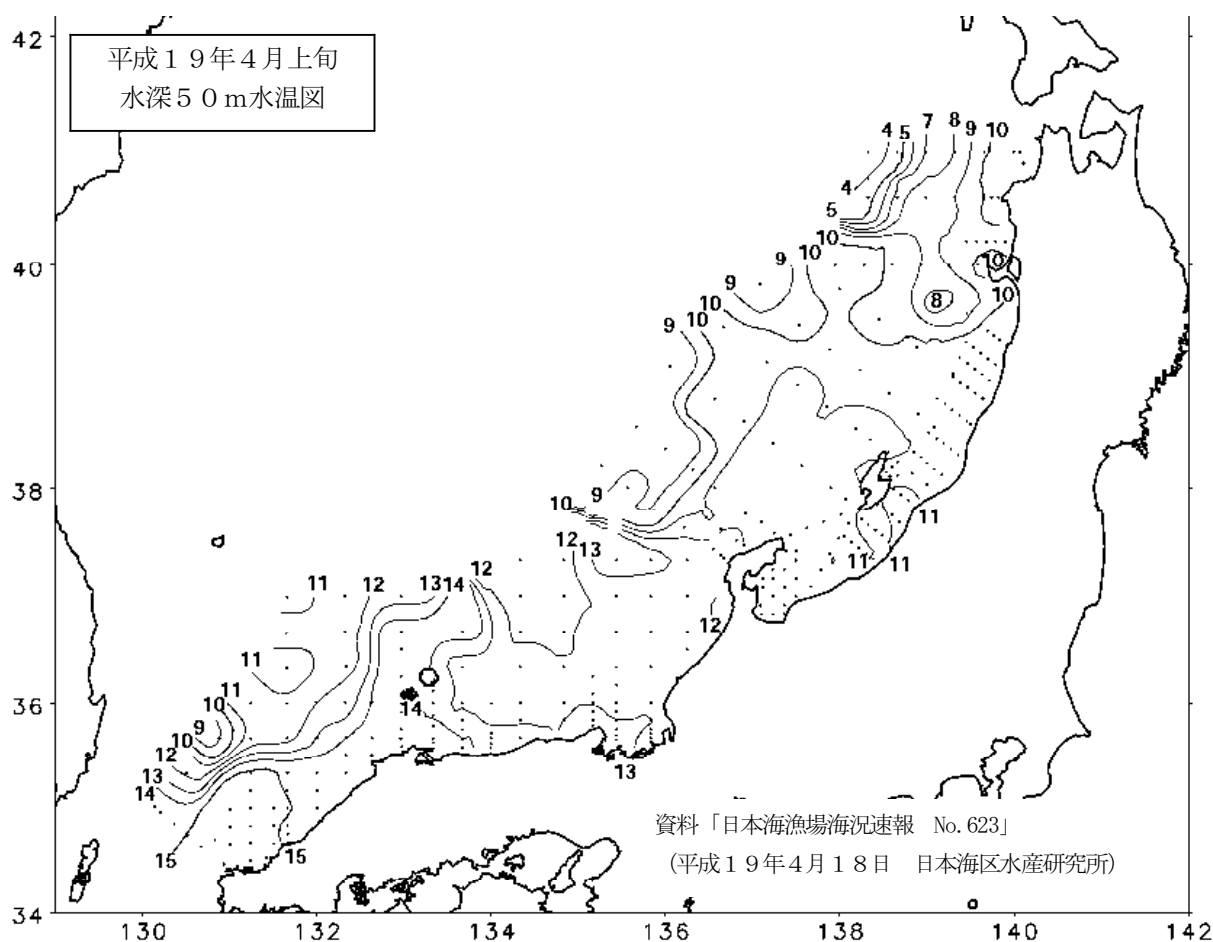
本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖・能登半島沖・富山湾のいずれの海域においても“かなり高め”から“はなはだ高め”。

定置網ではブリが平年をかなり上回り、スルメイカが平年をやや下回った。

底びき網ではハタハタが平年をやや下回り、アカガレイが平年並み、ホタルイカが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 — 4月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は11～12℃台を示し、加賀沖・能登半島沖・富山湾では、いずれも“かなり高め”から“はなはだ高め”(1～2℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は11～13℃台を示し、加賀沖から能登半島沖にかけての海域では“かなり高め”から“はなはだ高め”(1～2℃高め)、富山湾では“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島北西沖合に冷水域の張り出しが見られますが、加賀沖・能登半島西方沖は暖水域が広がっています。
- (4) 佐渡沖の冷水域の張り出しは、能登半島からかなり離れています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部・北部とも沿岸部は“かなり高め”の海域が広がっており、加賀沖から佐渡島周辺にかけての海域は“はなはだ高め”となっています。



2 漁獲の動向 — 3月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,937トン**で、**平年（過去10か年の平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はカタクチイワシで**1,386トン**と平年をかなり上回り、11月以降、好漁が続いています。

ブリは**152トン**、フクラギは**37トン**で平年をかなり上回りました。

スルメイカは**122トン**で平年をやや下回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**623トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はハタハタで**157トン**と前月より上向いたものの平年をやや下回りました。

アカガレイは**105トン**で平年並みでした。

ホタルイカは**69トン**で平年をかなり上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**902トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマサバで**499トン**と平年並みでした。

マアジは**197トン**で平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**281トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はフクラギで**189トン**と平年をかなり上回りました。

メダイは**7トン**で平年並みでした。

アカガレイは**7トン**で平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**8トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はウスメバルで**2トン**と平年をかなり下回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**1トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

「平成19年度第1回日本海海況予報（平成19年4月4日）」の概要

日本海沿岸の道府県水産研究機関と水産総合研究センター日本海区水産研究所が検討しとりまとめた日本海海況予報が以下のとおり発表されました。

1 現況（2007年3月）

- (1) 暖水域は、能登半島北方および佐渡島北方に分布。
- (2) 山陰・若狭沖の冷水域は、規模は小さく接岸状況は平年並み。佐渡島沖の冷水域は、規模は小さくて離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、ほぼ全域で“やや高め”～“かなり高め”となり、能登半島北方では“はなはだ高め”の海域が広範囲に分布。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部および北部とも“かなり高め”。

2 今後の見通し（2007年4月～6月）

- (1) 能登半島北方の暖水域は、北東に移動する。
- (2) 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しはやや弱い。佐渡島沖の冷水域の張り出しは弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部および北部とも“やや高め”で経過する。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	3月漁獲量(トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延続数	1,262	1,364 →	1,453 →		9,354	10,971 →	
カタクチイワシ	1,386	428 △△△	587 △△		3,121	864 △△△	
ブリ	152	3 △△△	13 △△△		775	322 △△	
スルメイカ	122	222 ▼	183 ▼		216	573 ▼▼	
マアジ	59	168 ▼▼	92 ▼		710	964 ▼	
マサバ	58	21 △△	41 △		419	281 △	
フクラギ	37	0 △△△	11 △△△		916	626 △	
ウルメイワシ	17	42 ▼▼	89 ▼▼		62	289 ▼▼	
ヤリイカ	14	6 △△	8 △		98	44 △△	
マイワシ	13	15 →	207 ▼▼		37	358 ▼▼	
ガンド	7	14 ▼▼	4 △		35	67 ▼	
サワラ	5	20 ▼▼	17 ▼▼		473	128 △△△	
ウマヅラハギ	3	13 ▼▼	25 ▼▼		139	562 ▼▼	
アンコウ	3	7 ▼▼	3 →		10	12 →	
マダラ	2	2 →	2 →		6	9 ▼	
マダイ	1	3 ▼	2 ▼		84	44 △	
その他	56	80 ▼	87 ▼		2,048	1,942 →	
合計	1,937	1,044 △	1,370 △		9,150	7,084 △	
1隻当たり	1.53	0.77 △△	0.94 △		0.98	0.65 △	

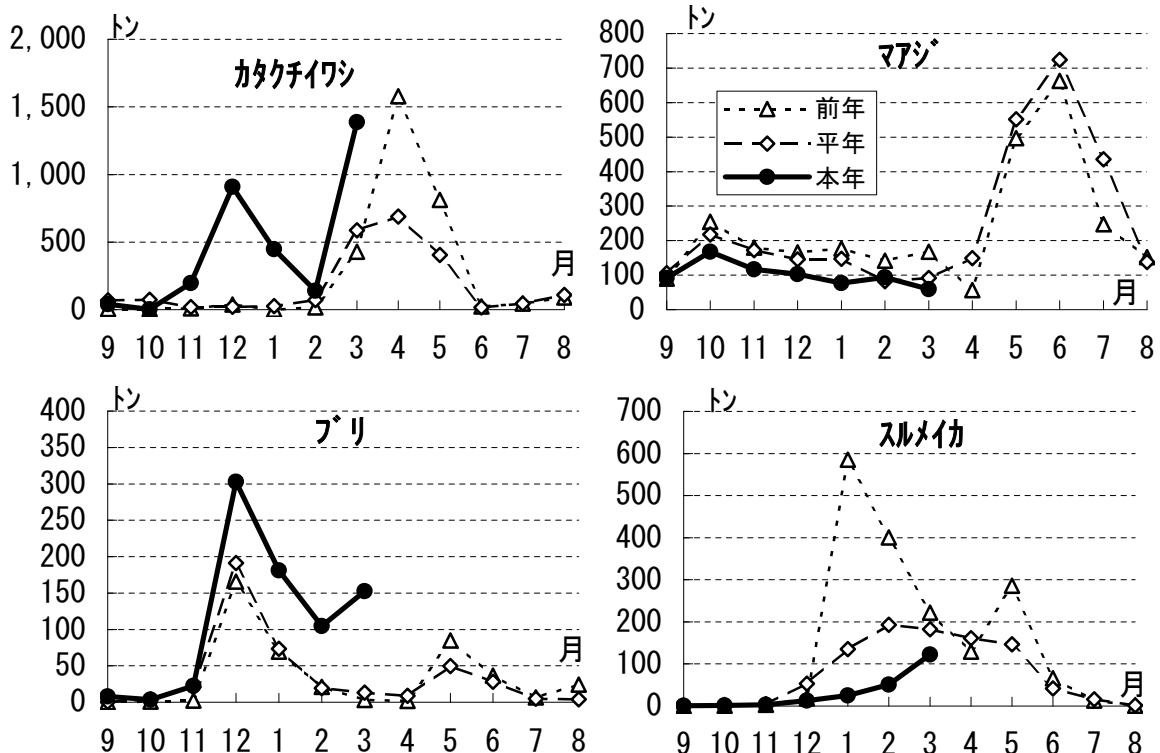
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (3月:定置網)

単位:トン

	カタクチイワシ	ブリ、ガンド	スルメイカ	アジ類	マサバ	サワラ	フクラギ	マイワシ
舞鶴	673.8	18.7	1.1	90.5	10.5	16.9	0.0	2.6
氷見	528.7	192.4	111.9	10.7	6.6	0.0	15.0	4.3

各府県水試調べによる(速報値)

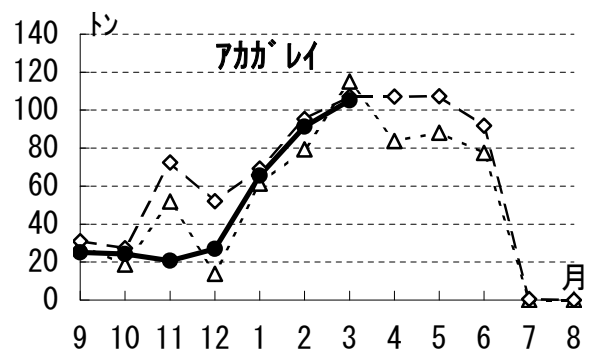
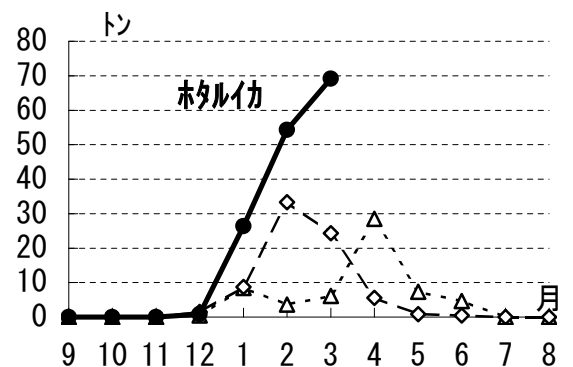
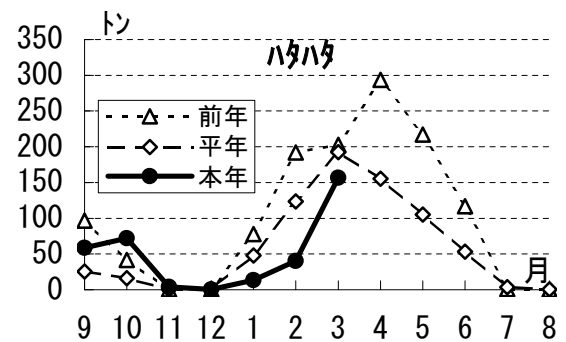
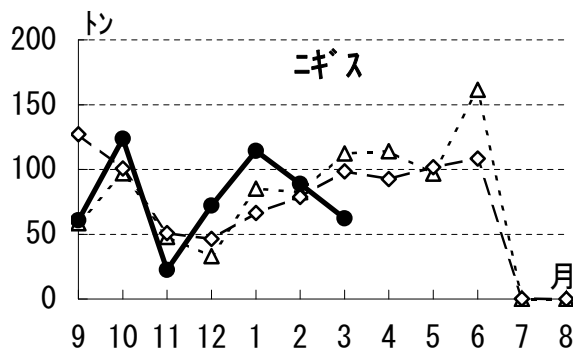


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	3月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	1,290	1,169 →	1,465 →	8,933	9,043 →	
ハタハタ	157	203 ▼	192 ▼	345	407 →	
アカガレイ	105	115 →	107 →	359	454 ▼	
ホタルイカ	69	6 △△△	24 △△	151	68 △△	
ニギス	62	112 ▼	98 ▼	544	569 →	
アンコウ	34	19 △	26 △	351	242 △	
アマエビ	28	10 △△	27 →	368	267 △	
ソウハチ	17	13 △	16 →	49	61 ▼	
ズワイガニ	15	20 ▼	25 ▼	236	305 ▼	
ガスエビ	10	6 △	15 ▼	93	105 →	
マアジ	9	6 △	23 ▼▼	15	44 ▼▼	
ミスガニ	9	9 →	10 ▼	42	43 →	
ヒレグロ	7	12 ▼	13 ▼	47	55 →	
ムシガレイ	5	5 →	7 ▼	71	66 →	
ヤナギムシガレイ	5	5 →	5 →	84	67 △	
ウマヅラハギ	4	3 △	7 ▼	16	40 ▼▼	
マダラ	4	7 ▼	9 ▼▼	38	47 ▼	
ホッケ	3	6 ▼	16 ▼▼	153	72 △△	
マガレイ	3	2 △	5 ▼	74	65 →	
キダイ	2	2 →	3 ▼	24	30 ▼	
マコガレイ	2	2 ▼	3 ▼	11	14 ▼	
その他	74	65 →	119 ▼	739	864 →	
合計	623	629 →	752 ▼	3,812	3,883 →	
1隻当たり	0.48	0.54 →	0.51 →	0.43	0.43 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	3月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	31	89	▼▼	49	▼	118	127	→
マサバ	499	329	△	499	→	733	2,012	▼▼
マヅ	197	373	▼	824	▼▼	342	1,522	▼▼
ガンド	109	105	→	23	△△△	110	33	△△△
ブリ	75	124	▼	18	△△△	409	21	△△△
マダイ	11	0	△△△	5	△△	11	5	△△
その他	207	289	▼	497	▼▼	578	1,220	▼▼
合計	902	990	→	1,820	▼▼	1,653	4,754	▼▼
1隻当たり	29	11	△△	37	▼	14	37	▼▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	3月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	2,280	2,292	→	2,793	▼	5,869	6,087	→
フナギ	189	62	△△△	79	△△	314	175	△
マダイ	7	3	△△	8	→	14	32	▼▼
アカレイ	7	8	▼	8	→	35	34	→
マダラ	4	4	→	3	△	78	55	△
ウマヅラハギ	4	3	△	4	→	26	14	△
ウスハル	4	6	▼	27	▼▼	4	28	▼▼
ハツメ	4	9	▼▼	5	▼	19	16	→
ミスダコ	3	5	▼	6	▼▼	9	17	▼
ホッケ	3	0	△△△	10	▼▼	5	11	▼▼
アカムツ	3	2	△	1	△△	7	2	△△△
その他	54	72	▼	100	▼	124	208	▼
合計	281	174	△	249	→	635	592	→
1隻当たり	0.12	0.08	△	0.09	△	0.11	0.10	→
釣り								
延隻数	408	637	▼	552	▼	1,340	1,486	→
ウスハル	2	3	▼	6	▼▼	4	11	▼▼
マダイ	1	0	△△△	0	△△△	2	0	△△△
その他	6	15	▼▼	8	▼	26	34	▼
合計	8	19	▼▼	14	▼	33	46	▼
1隻当たり	0.02	0.03	▼	0.03	▼	0.02	0.03	▼
イカ釣り(小型)								
延隻数	16	37	▼▼	61	▼▼	89	170	▼
スルメイカ	1	3	▼▼	7	▼▼	41	41	→
1隻当たり	0.04	0.09	▼▼	0.11	▼▼	0.46	0.24	△
サヨリ船びき網(蛸島港・鵜飼港・松波港)								
延隻数	142	117	△	151	→	142	151	→
サヨリ	14	7	△△	11	△	14	11	△
1隻当たり	0.10	0.06	△	0.07	△	0.10	0.07	△

※表(比率)の見方
 ▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

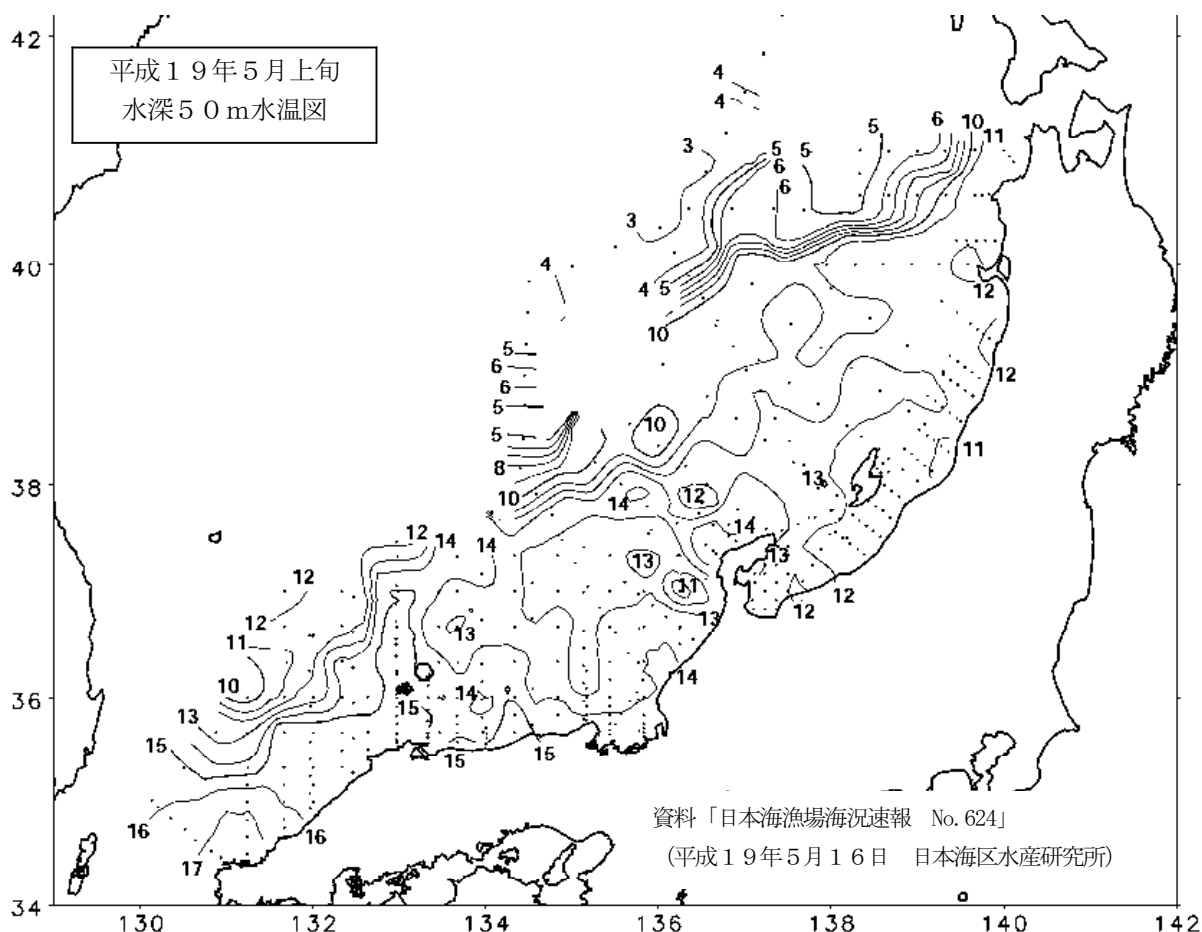
本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“やや高め”から“かなり高め”、能登半島沖・富山湾で“かなり高め”から“はなはだ高め”。

定置網ではマアジが平年をやや下回り、サワラが平年をやや上回った。

底びき網ではハタハタ・ニギスが平年並み、アマエビが平年をやや上回った。

1 水温の状況 — 5月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は12～14℃台を示し、加賀沖では“やや高め”から“かなり高め”(0～1℃高め)、能登半島外浦沖・富山湾では“かなり高め”から“はなはだ高め”(1～2℃高め)の水温分布を示しています。能登半島西方沖には一部で水温の低い海域が見られます。
- (2) 表面水温は13～15℃台を示し、加賀沖から能登半島沖にかけての海域では“かなり高め”から“はなはだ高め”(1～2℃高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖に規模の小さい冷水域の張り出しが見られますが、加賀沖は暖水域が広がっています。
- (4) 佐渡沖の冷水域の張り出しは、能登半島からやや離れています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部・北部とも沿岸部は“かなり高め”の海域が広がっており、能登半島北西沖から佐渡島周辺にかけての海域は“はなはだ高め”となっています。



2 漁獲の動向 — 4月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,275トン**で、**平年（過去10か年の平均）をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はカタクチイワシで820トンと平年並みでした。

マアジは114トンで平年をやや下回りました。

サワラは108トンで平年をやや上回りました。近年は4月が盛漁期となっていますが、本年は5月以降も内浦海域で平年をかなり上回る水揚げが続いています。

【底びき網】

主要10港合計は**679トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はハタハタで162トンと平年並みでした。

ニギスは104トンで平年並みでした。

アマエビは91トンで平年をやや上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**132トン**で、水揚げ隻数が少なく**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマアジで55トンと平年をかなり下回りました。

マサバは38トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**251トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はフクラギで85トンと平年をやや上回りました。

ウスメバル（やなぎばちめ）は25トンで平年をやや下回りました。

ウマヅラハギ（かわはぎ）は14トンで平年をやや上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**31トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はガンドで10トンと平年並みでした。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**30トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

小型いか釣り漁業の水揚げ状況（5月の速報値）

石川県沖はスルメイカ釣りの盛漁期を迎えています。県内における5月1日～20日までの水揚げ箱数は117千箱で前年の27%と低調に推移しています。

銘柄別箱数は、20入が前年の100%、25入が50%、30入が22%、40入以上が8%でした。

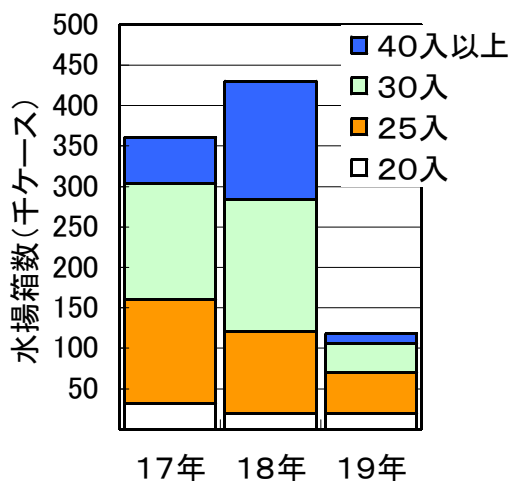
例年であれば水揚げの主体となる小型で未熟な群れの来遊がみられないことから、30入・40入以上の銘柄で前年をかなり下回っています。

調査船白山丸のいか釣り調査結果や今後の見通し等については、スルメイカ情報（6月1日発行予定）でお知らせします。

また、県内主要港の水揚げ状況（日報）については、以下のホームページで確認できます。

<http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

（携帯版） <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.files/p-index.htm>



小型いか釣り漁業の銘柄別漁獲量
(5月1日～20日)

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	4月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,569	1,491 →	1,762 →	10,923	12,733 →	
カタチイワシ	820	1,579 ▼	689 →	3,941	1,554 △△	
マアジ	114	56 △△	149 ▼	824	1,113 ▼	
サワラ	108	18 △△△	58 △	580	185 △△△	
スルメイカ	42	129 ▼▼	161 ▼▼	259	734 ▼▼	
マダイ	38	8 △△△	22 △	122	65 △	
ブリ	17	2 △△△	9 △	792	331 △△	
ウマヅラハギ	13	3 △△△	44 ▼▼	152	606 ▼▼	
ウルメイワシ	9	30 ▼▼	73 ▼▼	72	362 ▼▼	
ガンド	5	1 △△△	4 →	40	71 ▼	
マサバ	4	46 ▼▼	64 ▼▼	423	345 △	
マイワシ	4	141 ▼▼	199 ▼▼	41	556 ▼▼	
アンコウ	3	4 ▼	2 →	13	15 →	
ヤリイカ	3	1 △△	2 →	101	47 △△	
ヒラメ	2	2 →	1 △	14	6 △△	
サクラマス	2	3 ▼	2 ▼	3	4 ▼	
その他	94	88 →	140 ▼	3,051	2,710 →	
合計	1,275	2,111 ▼	1,622 ▼	10,426	8,706 →	
1隻当たり	0.81	1.42 ▼	0.92 →	0.95	0.68 △	

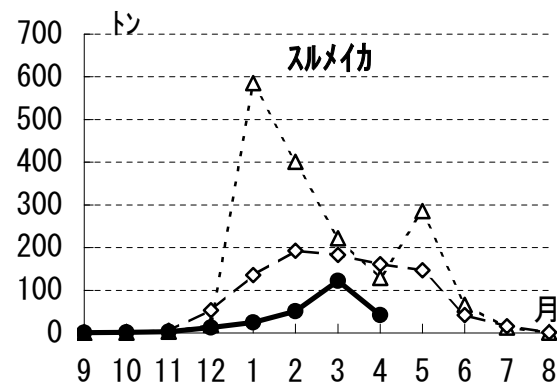
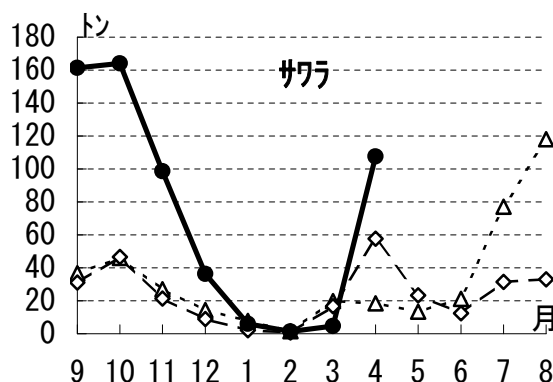
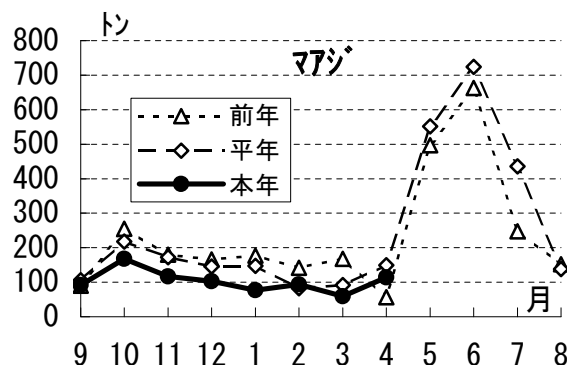
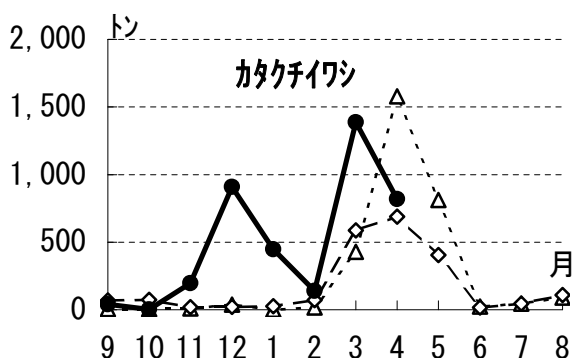
平年値は過去10年平均

単位：トン

他府県漁獲状況 (4月：定置網)

	カタチイワシ	アジ類	ブリ、ガンド	サワラ	スルメイカ	フクラギ	マサバ	マダイ
舞鶴	545.7	250.4	95.4	50.6	0.6	0.0	16.2	0.8
氷見	101.8	9.8	42.5	0.0	27.2	16.6	0.2	2.3

各府県水試調べによる (速報値)

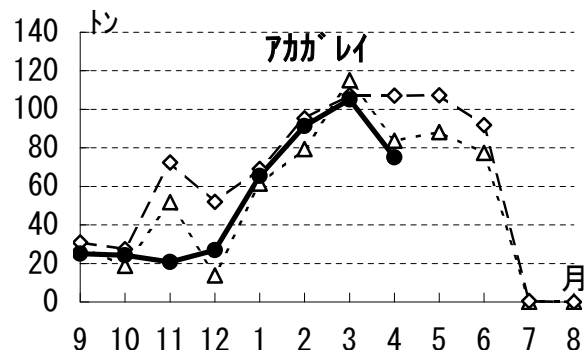
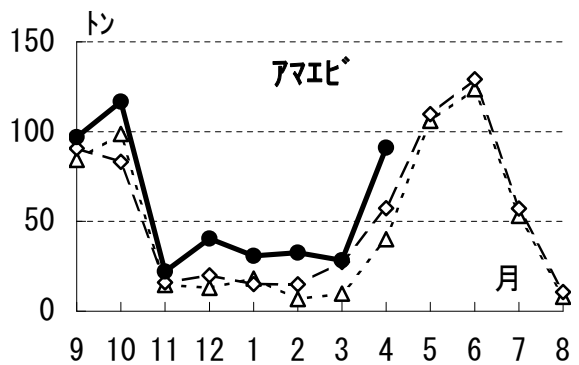
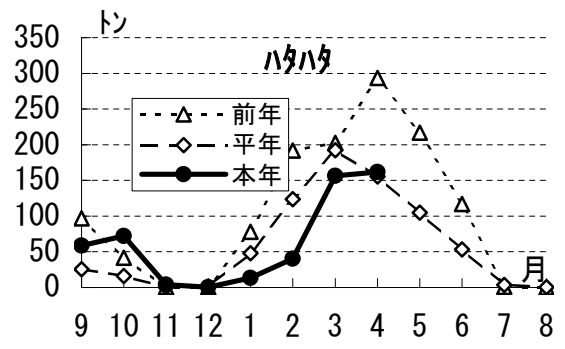
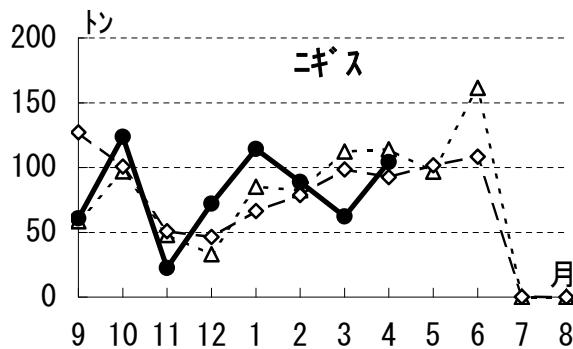


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	4月漁獲量(トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	1,535	1,341 →	1,632 →	10,468	10,675 →	
ハタハタ	162	294 ▼	155 →	507	563 →	
ニギス	104	114 →	93 →	649	661 →	
アマヒ	91	40 △△	57 △	459	325 △	
アカガレイ	75	84 →	107 ▼	434	562 ▼	
ホッケ	29	7 △△△	22 △	182	94 △	
アンコウ	19	18 →	20 →	370	262 △	
ガシビ	16	11 △	23 ▼	110	127 →	
ヤナギムシガレイ	13	7 △	10 △	97	77 △	
マダラ	13	5 △△	11 →	51	58 →	
ソウハチ	11	14 ▼	16 ▼	60	77 ▼	
ムシガレイ	11	7 △	10 →	81	75 →	
ヒレグロ	9	10 →	14 ▼	56	69 ▼	
マダイ	6	4 △	4 △	29	33 →	
ウマヅラハギ	6	3 △	6 →	22	46 ▼▼	
マサジ	5	2 △△	15 ▼▼	20	59 ▼▼	
ハツメ	5	6 ▼	7 ▼	20	45 ▼▼	
マガレイ	5	3 △	8 ▼	79	73 →	
キダイ	4	3 →	4 →	28	33 →	
マコガレイ	3	2 △	3 △	14	16 →	
ヒラメ	3	3 ▼	2 →	11	10 →	
その他	91	93 →	119 ▼	1,213	1,323 →	
合計	679	731 →	705 →	4,491	4,589 →	
1隻当たり	0.44	0.55 ▼	0.43 →	0.43	0.43 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	4月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	19	37	▼	45	▼▼	137	172	▼
マヅ	55	0	---	351	▼▼	396	1,872	▼▼
マサバ	38	0	---	227	▼▼	771	2,239	▼▼
マダイ	24	1	△△△	12	△	35	18	△△
ブリ	12	124	▼▼	15	▼	420	36	△△△
カクイワシ	2	0	---	14	▼▼	15	49	▼▼
その他	1	926	▼▼	781	▼▼	146	1,940	▼▼
合計	132	1,052	▼▼	1,400	▼▼	1,784	6,155	▼▼
1隻当たり	7	28	▼▼	31	▼▼	13	36	▼▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	4月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	3,632	2,696	△	3,904	→	9,501	9,991	→
フクラギ	85	13	△△△	64	△	399	239	△
ウスハル	25	25	→	40	▼	29	68	▼▼
ウマヅラハギ	14	3	△△△	7	△	40	21	△
ホッケ	8	1	△△△	13	▼	13	24	▼
マダイ	7	1	△△△	2	△△△	21	34	▼
ハツメ	6	1	△△△	8	▼	25	24	→
マダイ	6	4	△	6	→	11	13	▼
ヒラメ	6	3	△	3	△	8	5	△
ササエ	5	1	△△△	3	△	9	5	△
マヅ	4	4	→	5	→	9	11	→
その他	85	62	△	117	▼	321	414	▼
合計	251	119	△△	268	→	886	860	→
1隻当たり	0.07	0.04	△	0.07	→	0.09	0.09	→
釣り								
延隻数	768	641	→	776	→	2,108	2,262	→
ガンド	10	16	▼	10	→	10	11	→
ブリ	7	5	△	4	△	8	4	△
マダイ	4	0	△△△	1	△△△	6	1	△△△
ウスハル	2	3	▼	4	▼▼	6	16	▼▼
その他	8	13	▼	15	▼	34	48	▼
合計	31	37	→	33	→	64	79	▼
1隻当たり	0.04	0.06	▼	0.04	→	0.03	0.04	→
イカ釣り(小型)								
延隻数	69	51	△	94	▼	158	265	▼
スルメイカ	30	29	→	16	△	71	57	△
1隻当たり	0.43	0.58	▼	0.17	△△	0.45	0.22	△△
サヨリ船びき網(蛸島港・鵜飼港・松波港)								
延隻数	165	76	△△	181	→	307	332	→
サヨリ	11	3	△△△	10	→	26	21	△
1隻当たり	0.07	0.04	△	0.05	△	0.08	0.06	△

※表(比率)の見方
 ▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

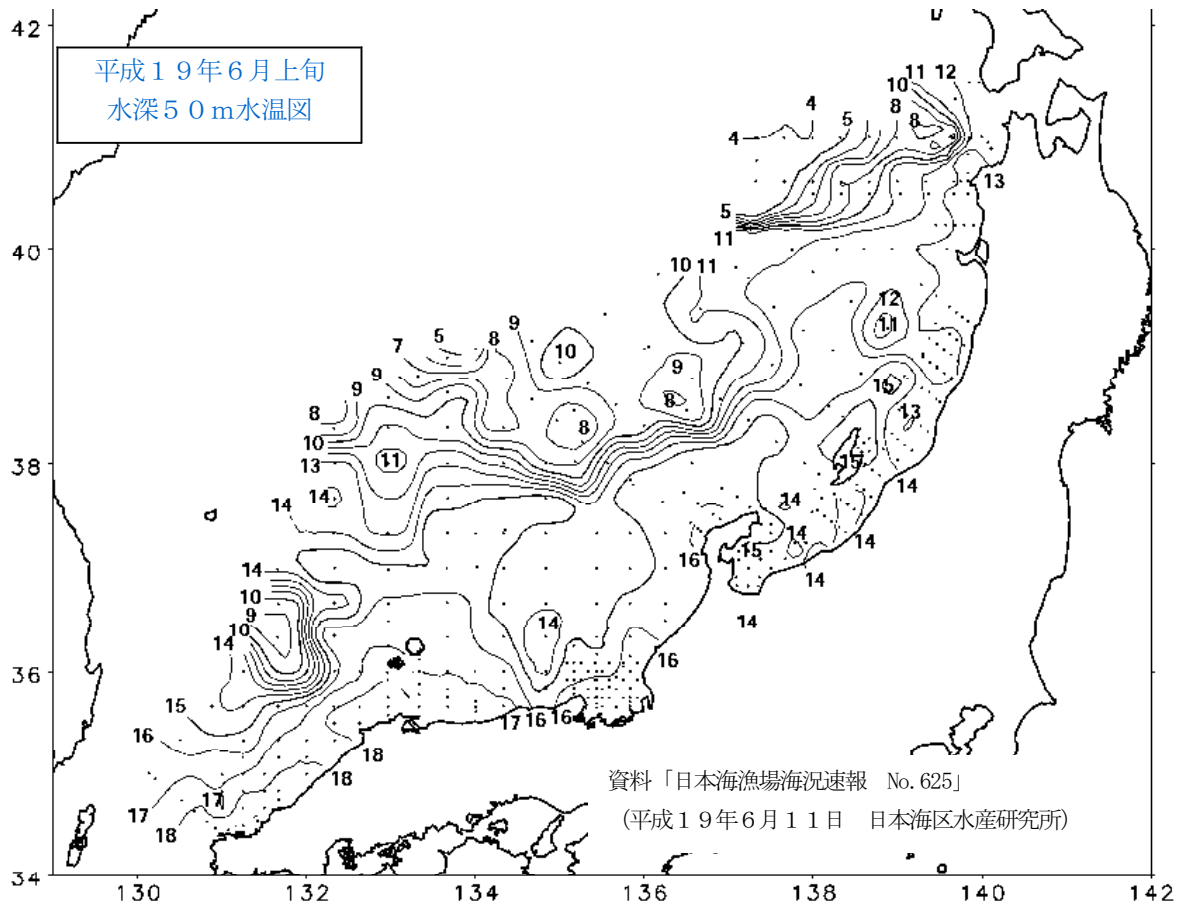
石川県水産総合センター漁海況情報 第128号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“やや高め”、能登半島外浦沖で“かなり高め”から“はなはだ高め”、富山湾で“やや高め”。
定置網ではマアジが平年をやや下回り、サワラが平年をかなり上回った。
底びき網ではアマエビ・ハタハタが平年をやや下回り、ニギスが平年並み。

1 水温の状況 — 6月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は14～16℃台を示し、加賀沖では“やや高め”（0～1℃高め）、能登半島外浦沖では“かなり高め”から“はなはだ高め”（1～3℃高め）、富山湾では“やや高め”（0～1℃高め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は17～19℃台を示し、加賀沖では“平年並み”、能登半島外浦沖では“やや高め”から“かなり高め”（0～2℃高め）、富山湾では“平年並み”から“やや低め”（0～1℃低め）の水温分布を示しています。
- (3) 若狭沖の冷水域の張り出しは能登半島からかなり離れており、加賀沖・能登半島西方沖には暖水域が広がっています。
- (4) 佐渡沖の冷水域の張り出しは能登半島から離れています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部では“かなり高め”、北部では“はなはだ高め”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 5月の漁獲量から —

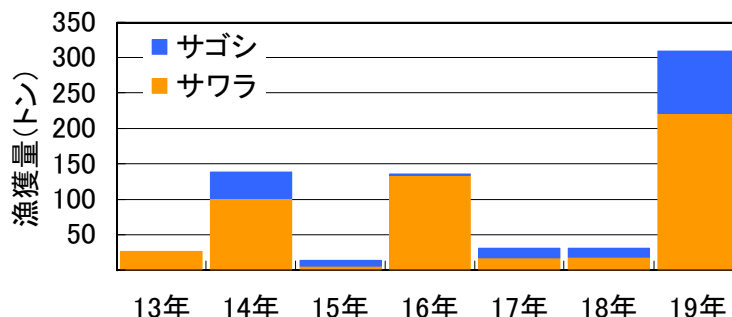
【定置網】

主要10港合計は**1,764トン**で、**平年（過去10か年の平均）並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの444トンで、平年をやや下回りました。

サワラ（サゴシを含む。）は274トンで平年をかなり上回りました。特に宇出津港・七尾地区では、3月～5月の漁獲量がサワラ銘柄で過去5カ年平均の400%、サゴシ銘柄で597%と好調でした。

マサバは141トンで平年並みでした。



内浦海域の定置網漁業による春期のサワラ・サゴシ漁獲量
(宇出津港・七尾地区の3～5月漁獲量)

【底びき網】

主要10港合計は**639トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはアマエビの88トンで、平年をやや下回りました。

ニギスは88トンで平年並みでした。ハタハタは74トンで平年をやや下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**415トン**で、水揚げ隻数が少なく**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマサバの299トンで、平年をかなり上回りました。

マアジは54トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**153トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはサザエの19トンで、平年並みでした。

ウマヅラハギ（かわはぎ）は18トンで平年並みでした。

フクラギは15トンで平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**31トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはガンドの16トンで、平年並みでした。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**858トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

■■■ 「平成19年度第2回日本海海況予報（平成19年6月29日）」の概要 ■■■

日本海沿岸の道府県水産研究機関と水産総合研究センター日本海区水産研究所が検討しとりまとめた日本海海況予報が以下のとおり発表されました。

1 現況（2007年6月）

- (1) 暖水域は、丹後半島北方、佐渡島沖に分布。
- (2) 山陰・若狭沖、佐渡島沖および入道埼沖の冷水域は、規模は小さく離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、ほぼ全域で“平年並み”～“やや低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“かなり高め”、北部は“はなはだ高め”。

2 今後の見通し（2007年7月～9月）

- (1) 丹後半島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。佐渡島沖の暖水域は、北東に移動する。
- (2) 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは弱い。佐渡島沖の冷水域の張り出しはやや弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“やや高め”、北部は“かなり高め”で経過する。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	5月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,917	2,146 →	2,202 →	12,840	14,935 →	
マアジ	444	497 →	552 ▼	1,268	1,665 ▼	
カタクチイワシ	368	813 ▼▼	406 →	4,308	1,959 △△	
サワラ	274	13 △△△	23 △△△	854	209 △△△	
マサバ	141	129 →	166 →	565	512 →	
ウルメイワシ	92	6 △△△	52 △	163	415 ▼▼	
フクラギ	67	38 △	83 ▼	984	721 △	
スルメイカ	54	286 ▼▼	147 ▼▼	312	881 ▼▼	
ブリ	48	85 ▼	50 →	840	381 △△	
マダイ	45	49 →	75 ▼	167	140 →	
マイワシ	32	36 →	141 ▼▼	73	697 ▼▼	
トビウオ類	23	11 △△	9 △△	24	12 △△	
クロマグロ	13	7 △	3 △△△	15	5 △△	
ウマヅラハギ	13	33 ▼▼	66 ▼▼	165	673 ▼▼	
メジ	9	0 △△△	7 △	51	76 ▼	
アンコウ	3	2 △	2 △	16	16 →	
その他	139	354 ▼▼	217 ▼	2,386	2,343 →	
合計	1,764	2,357 ▼	1,999 →	12,190	10,705 →	
1隻当たり	0.92	1.10 →	0.91 →	0.95	0.72 △	

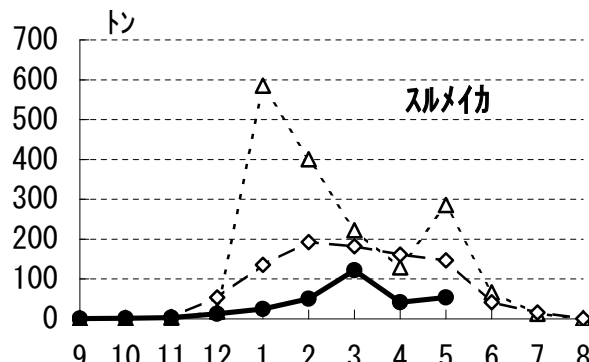
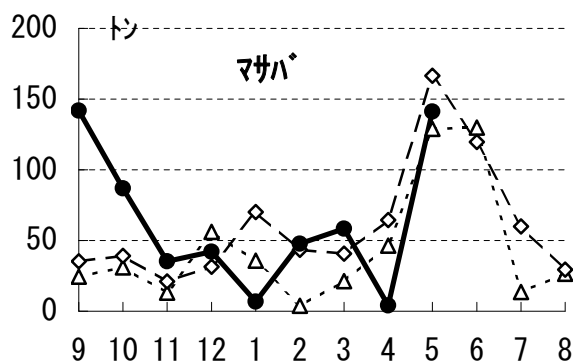
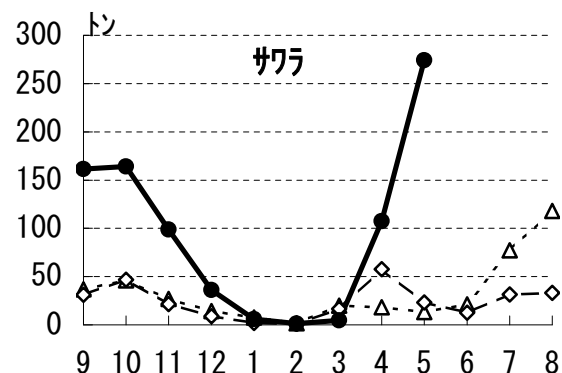
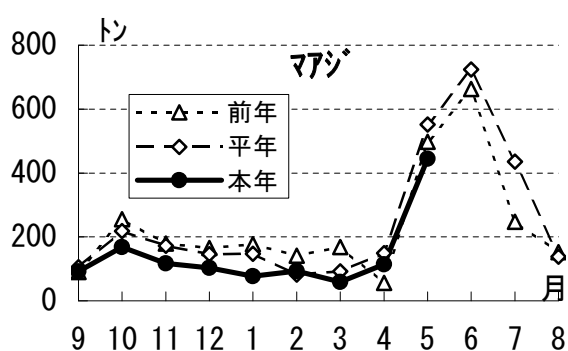
平年値は過去10年平均

単位：トン

他府県漁獲状況 (5月：定置網)

	アジ類	カタクチイワシ	ブリ、ガンド	フクラギ	サワラ	スルメイカ	マサバ	ウルメイワシ
舞鶴	236.7	234.1	139.7	—	37.1	5.0	12.7	—
氷見	65.5	19.4	14.5	52.2	181.7	15.1	2.9	14.4

各府県水試調べによる (速報値)

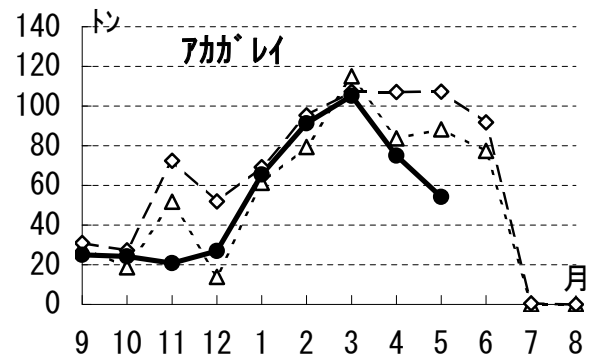
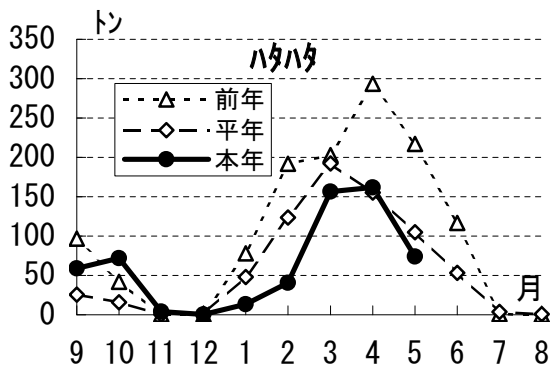
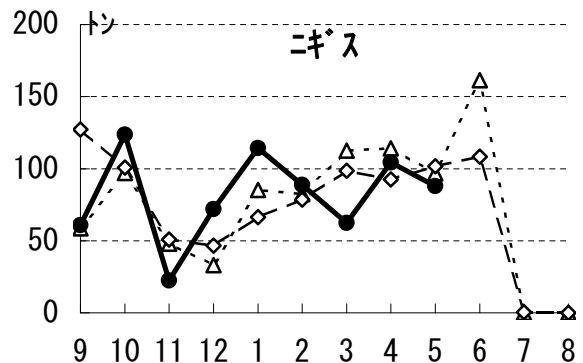
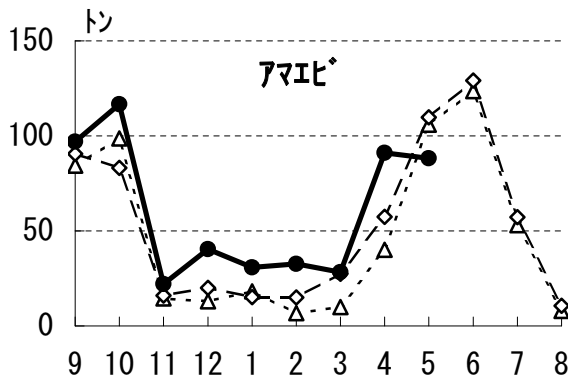


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	5月漁獲量(トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	
延隻数	1,401	1,670 →	1,810 ▼	11,869	12,486 →		
アマビ	88	106 →	110 ▼	547	434 △		
ニギス	88	97 →	102 →	737	763 →		
ホッケ	77	64 △	40 △	259	134 △		
ハタハタ	74	217 ▼▼	105 ▼	581	668 →		
アカガレイ	54	88 ▼	107 ▼	484	669 ▼		
ハツメ	30	5 △△△	14 △△	50	59 →		
マガレイ	20	15 △	16 △	98	89 →		
ヤナギムシガレイ	18	17 →	18 →	115	94 △		
アンコウ	17	13 △	15 →	384	278 △		
マダラ	16	14 →	13 △	67	71 →		
ソウハチ	14	15 →	18 ▼	70	95 ▼		
ムシガレイ	14	16 →	12 →	94	88 →		
ガスビ	10	14 ▼	18 ▼	119	145 ▼		
ヒレゴロ	9	11 ▼	11 ▼	64	80 ▼		
マダイ	7	7 →	4 △	36	37 →		
ウマヅラハギ	7	10 ▼	9 →	29	54 ▼		
キダイ	4	6 ▼	7 ▼	32	40 ▼		
マコガレイ	3	3 →	5 ▼	17	21 ▼		
ヒラメ	3	3 →	2 △	14	12 →		
マアジ	2	1 △	3 ▼▼	22	63 ▼▼		
その他	84	103 ▼	107 ▼	1,292	1,430 →		
合計	639	826 ▼	735 →	5,112	5,324 →		
1隻当たり	0.46	0.49 →	0.41 →	0.43	0.43 →		

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	5月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	19	10	△	49	▼▼	156	221	▼
マサバ	299	24	△△△	92	△△△	1,070	2,331	▼▼
マアジ	54	13	△△△	389	▼▼	450	2,261	▼▼
フケギ	49	49	→	40	△	79	89	→
マダイ	7	25	▼▼	68	▼▼	42	86	▼▼
マイワシ	3	0	△△△	172	▼▼	4	1,464	▼▼
その他	3	16	▼▼	81	▼▼	554	766	▼
合計	415	128	△△△	842	▼▼	2,199	6,997	▼▼
1隻当たり	22	13	△	17	△	14	32	▼▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	5月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	4,147	4,850	→	5,704	▼	13,648	15,695	→
サシ	19	12	△	19	→	27	24	→
ウマヅラハギ	18	13	△	19	→	58	40	△
フケギ	15	5	△△△	13	→	414	252	△
ウスハル	13	28	▼▼	39	▼▼	41	107	▼▼
マダイ	9	11	▼	17	▼	19	30	▼
ホッケ	6	1	△△△	3	△	19	27	▼
アマダイ類	5	5	→	6	▼	8	9	→
ハツメ	4	6	▼	9	▼▼	29	34	→
マダコ	4	2	△	5	▼	10	13	▼
ガンド	4	12	▼▼	9	▼▼	19	75	▼▼
その他	58	75	▼	86	▼	394	474	→
合計	153	170	→	224	▼	1,039	1,083	→
1隻当たり	0.04	0.04	→	0.04	→	0.08	0.07	→
釣り								
延隻数	947	1,473	▼	1,582	▼	3,055	3,844	▼
ガンド	16	9	△	13	→	22	14	△
ブリ	4	10	▼▼	9	▼▼	6	17	▼▼
マダイ	1	2	▼	4	▼▼	7	20	▼▼
ウスハル	0	7	▼▼	4	▼▼	8	8	→
その他	9	37	▼▼	36	▼▼	53	87	▼
合計	31	66	▼▼	67	▼▼	95	146	▼
1隻当たり	0.03	0.04	▼	0.04	▼	0.03	0.04	▼
イカ釣り(小型)								
延隻数	1,998	3,792	▼	2,391	→	2,156	2,656	▼
スルメイカ	858	2,960	▼▼	1,345	▼	929	1,402	▼
1隻当たり	0.43	0.78	▼	0.56	▼	0.43	0.53	▼
サヨリ船びき網(蛸島港・鵜飼港・松波港)								
延隻数	79	69	→	106	▼	386	439	→
サヨリ	6	4	△	7	▼	31	28	→
1隻当たり	0.07	0.07	→	0.07	→	0.08	0.06	△

※表(比率)の見方
 ▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

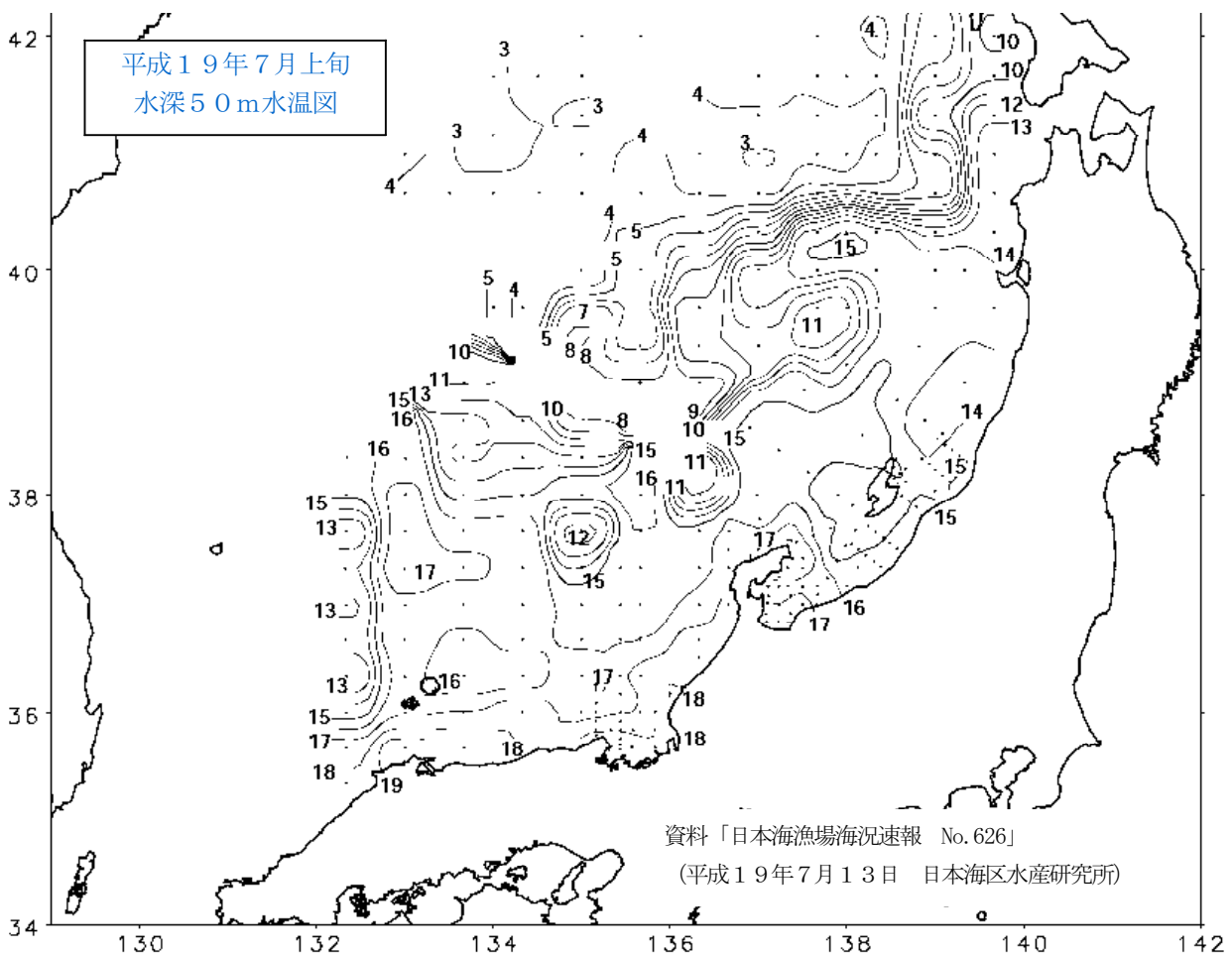
本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖から能登半島外浦沖、富山湾で“平年並み”から“やや高め”。

定置網ではマアジが平年をやや上回り、スルメイカ・サワラが平年をかなり上回った。

底びき網ではアマエビ・ニギスが平年並み、アカガレイが平年をやや下回った。

1 水温の状況 — 7月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は15～17℃台を示し、加賀沖から能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は20～22℃台を示し、加賀沖から能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 若狭沖の冷水域の張り出しは能登半島から離れており、加賀沖・能登半島西方沖には暖水域が広がっています。
- (4) 佐渡沖の冷水域の張り出しは能登半島からかなり離れています。



2 漁獲の動向 — 6月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,544トン**で、**平年（過去10か年の平均）並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの894トンで、平年をやや上回りました。

トビウオは103トンで平年並みでした。

スルメイカは102トンで平年をかなり上回りました。

サワラ（サゴシを含む。）は69トンで平年をかなり上回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**763トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはアマエビの137トンで、平年並みでした。

ニギスは108トンで平年並みでした。

アカガレイは72トンで平年をやや下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**392トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの243トンで、平年をやや上回りました。

ガンドは66トンで平年をかなり上回りました。

クロマグロは38トンで平年をかなり上回りました。

【刺網】

主要10港合計は**203トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはサザエの56トンで、平年をやや上回りました。

ウマヅラハギ（かわはぎ）は22トンで平年並みでした。

アマダイは15トンで平年をやや上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**36トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマダイの10トンで、平年をやや下回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**264トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

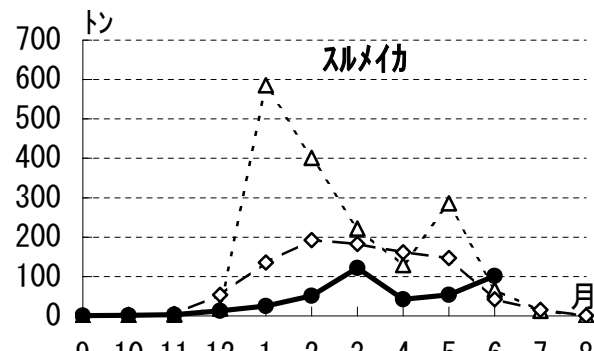
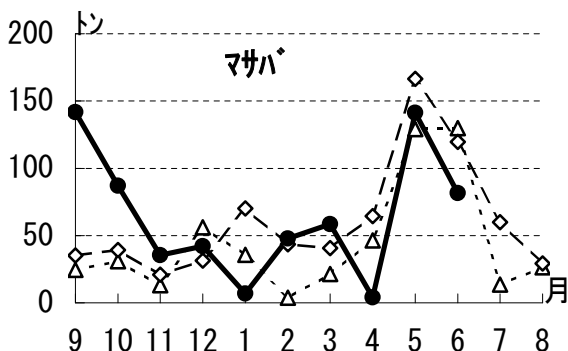
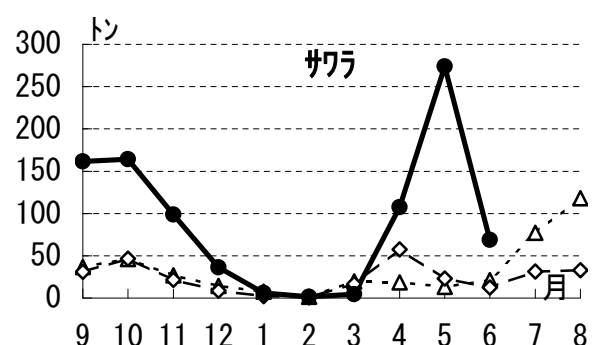
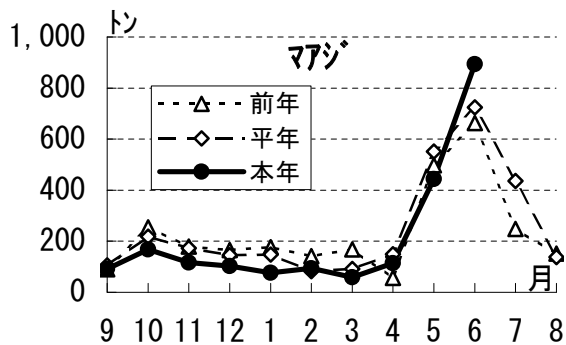
	6月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,929	2,178 →	2,102 →	14,769	17,038 →	
マアジ	894	663 △	724 △	2,162	2,389 →	
トビウオ類	103	275 ▼▼	124 →	127	136 →	
スルメイカ	102	66 △	42 △△	414	923 ▼▼	
マサバ	82	130 ▼	120 ▼	646	632 →	
サワラ	69	21 △△△	12 △△△	923	221 △△△	
フクラギ	44	66 ▼	54 ▼	1,028	775 △	
カタチイワシ	41	23 △	18 △△	4,350	1,977 △△	
ブリ	41	37 →	28 △	882	409 △△	
マダイ	14	32 ▼▼	26 ▼	181	166 →	
ウルメイワシ	12	4 △△	5 △△	175	419 ▼▼	
アカカマス	9	3 △△△	4 △△	170	230 ▼	
メジ	8	2 △△△	3 △△	59	79 ▼	
ウマヅラハギ	4	14 ▼▼	13 ▼▼	169	686 ▼▼	
ケンサキイカ	4	5 ▼	2 △	6	5 △	
タチウオ	4	1 △△△	2 △	20	7 △△	
その他	115	161 ▼	173 ▼	2,424	3,001 ▼	
合計	1,544	1,504 →	1,350 →	13,735	12,054 →	
1隻当たり	0.80	0.69 →	0.64 △	0.93	0.71 △	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (6月：定置網)

	アジ類	サワラ	カタチイワシ	マサバ	スルメイカ	アカカマス	ブリ、ガント	フクラギ
舞鶴	272.3	36.7	54.1	68.7	9.0	5.0	7.7	0.4
氷見	90.5	74.2	26.6	6.7	21.1	8.1	3.4	7.3

各府県水試調べによる (速報値)

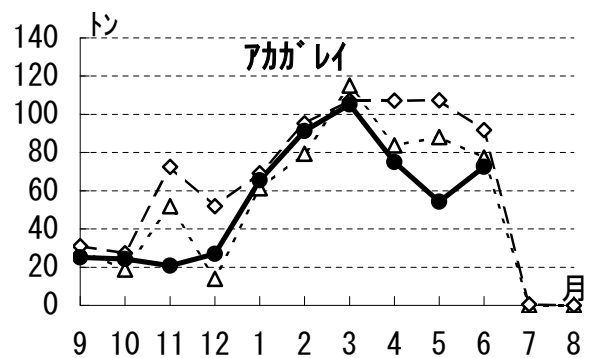
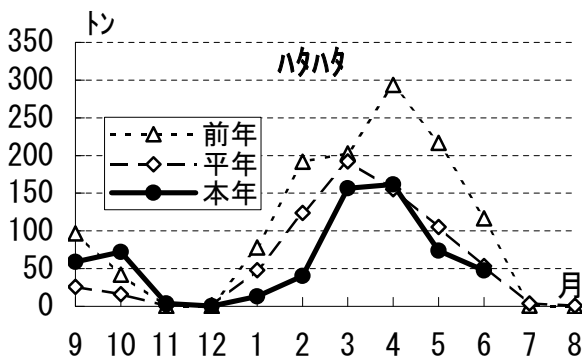
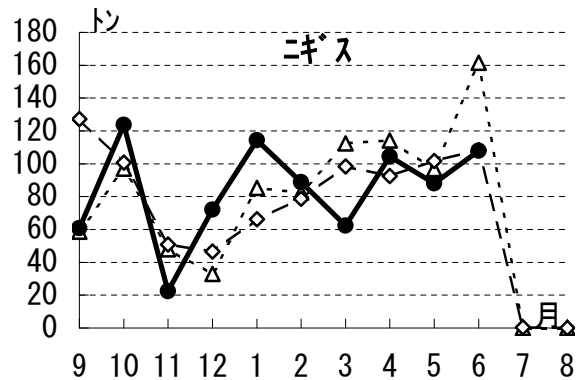
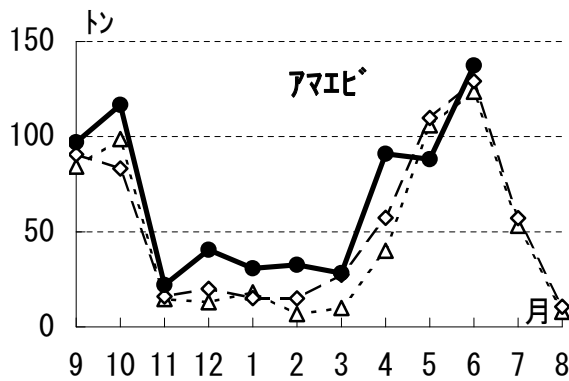


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	6月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	1,785	1,944 →	1,810 →	13,654	14,296 →	
アマヒ	137	124 →	129 →	685	564 △	
ニギス	108	161 ▼	108 →	845	871 →	
ホッケ	100	181 ▼	45 △△	359	180 △	
アカガレイ	72	77 →	92 ▼	557	761 ▼	
ハタハタ	47	117 ▼▼	53 →	628	721 →	
マガレイ	37	29 △	27 △	135	116 →	
ヤキムシガレイ	26	28 →	23 →	141	118 →	
ムシガレイ	21	21 →	15 △	115	103 →	
アンコウ	17	10 △	13 △	401	291 △	
マダラ	14	16 →	10 △	81	81 →	
ソウハチ	14	14 →	20 ▼	83	115 ▼	
ハツメ	13	6 △△	11 →	63	70 →	
ヒレグロ	10	10 →	10 →	74	90 ▼	
ガスエビ	8	10 ▼	10 ▼	127	156 ▼	
ウマヅラハギ	8	8 →	8 →	37	62 ▼	
マダイ	7	9 ▼	4 △	44	41 →	
キダイ	5	8 ▼	7 ▼	37	47 ▼	
マコガレイ	5	3 △	4 △	22	25 →	
チダイ	3	2 △	2 △	12	17 ▼	
カニ類	2	2 →	2 →	26	21 △	
その他	108	116 →	104 →	1,403	1,574 →	
合計	763	952 ▼	698 →	5,875	6,022 →	
1隻当たり	0.43	0.49 →	0.39 →	0.43	0.42 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	6月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	27	26 →	53 ▼	183	275 ▼	
マヅ	243	74 △△△	182 △	693	2,444 ▼▼	
ガンド	66	42 △	22 △△	176	166 →	
クロマグロ	38	51 ▼	11 △△△	38	11 △△△	
マサバ	29	180 ▼▼	49 ▼	1,099	2,380 ▼▼	
マダイ	7	16 ▼▼	23 ▼▼	48	109 ▼▼	
その他	8	51 ▼▼	290 ▼▼	535	2,465 ▼▼	
合計	392	413 →	578 ▼	2,591	7,575 ▼▼	
1隻当たり	15	16 →	11 △	14	28 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	6月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
刺網漁業						
延隻数	5,992	6,508 →	6,290 →	19,640	21,984 →	
サエ	56	50 →	41 △	84	65 △	
ウマヅラハギ	22	17 △	20 →	80	60 △	
アマダイ類	15	12 △	12 △	23	21 →	
ウスハル	13	23 ▼	25 ▼	54	132 ▼▼	
ハツメ	8	17 ▼	10 →	38	44 →	
フクラギ	8	10 ▼	7 →	422	259 △	
キダイ	7	11 ▼	7 →	14	15 →	
マダイ	7	4 △	6 →	26	36 ▼	
マダコ	6	4 △	7 ▼	16	20 ▼	
ガンド	5	2 △	1 △△△	23	76 ▼▼	
その他	55	66 →	70 ▼	462	563 ▼	
合計	203	215 →	206 →	1,242	1,290 →	
1隻当たり	0.03	0.03 →	0.03 →	0.06	0.06 →	
釣り						
延隻数	1,611	1,893 →	1,734 →	4,666	5,577 →	
マダイ	10	16 ▼	15 ▼	32	29 →	
フクラギ	4	1 △△△	2 △△	10	18 ▼	
ウスハル	2	4 ▼	5 ▼▼	9	25 ▼▼	
好ウオ	2	2 △	2 △	2	2 △	
サワ	1	0 △△△	0 △△△	1	0 △△△	
その他	17	20 →	44 ▼▼	78	140 ▼	
合計	36	42 →	68 ▼	131	214 ▼	
1隻当たり	0.02	0.02 →	0.04 ▼	0.03	0.04 ▼	
イカ釣り (小型)						
延隻数	1,066	2,772 ▼▼	1,905 ▼	3,222	4,560 ▼	
スルメイカ	264	1,744 ▼▼	1,174 ▼▼	1,193	2,576 ▼▼	
1隻当たり	0.25	0.63 ▼▼	0.62 ▼▼	0.37	0.56 ▼	

※表 (比率) の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第130号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

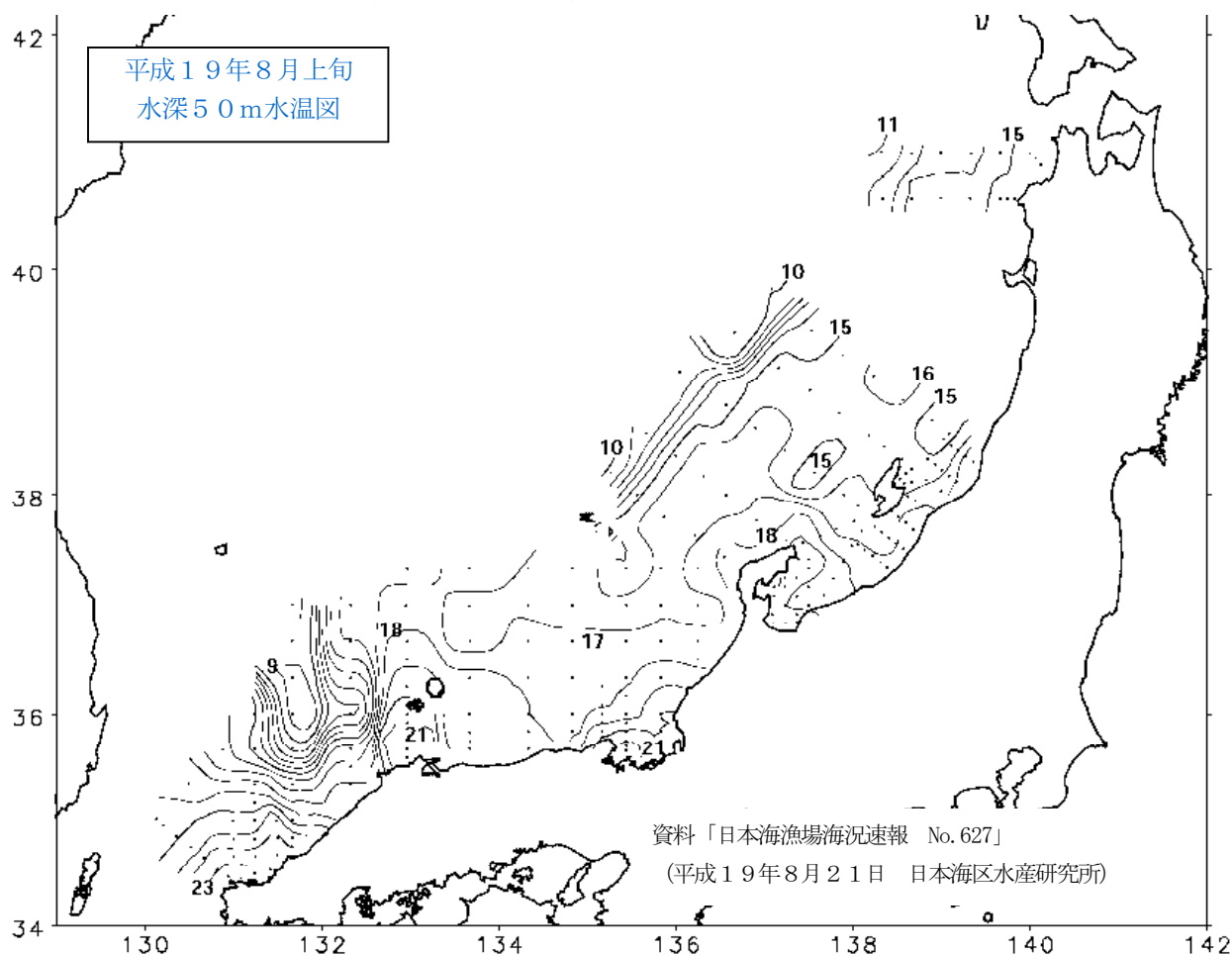
本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“やや低め”、能登半島外浦沖で“平年並み”、富山湾で“やや低め”。

定置網ではサワラ・マイワシが平年をかなり上回り、マアジ・トビウオが平年をやや下回った。

刺し網ではサザエが平年並み、釣りではマダイが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 — 8月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は16～18℃台を示し、加賀沖では“やや低め”（0～1℃低め）、能登半島外浦沖では“平年並み”、富山湾では“やや低め”（0～1℃低め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は23～25℃台を示し、加賀沖では“やや低め”～“かなり低め”（1～2℃低め）、能登半島外浦沖・富山湾では“やや低め”（0～1℃低め）の水温分布を示しています。
- (3) 若狭沖の冷水域の張り出しは能登半島から離れており、加賀沖・能登半島西方沖には暖水域が広がっています。
- (4) 佐渡沖の冷水域の張り出しは能登半島からかなり離れています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、沿岸域は“平年並み”～“やや低め”の海域が広がり、能登半島北方沖合から佐渡島沖合の海域は“やや高め”となっています。



2 漁獲の動向 — 7月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,278トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

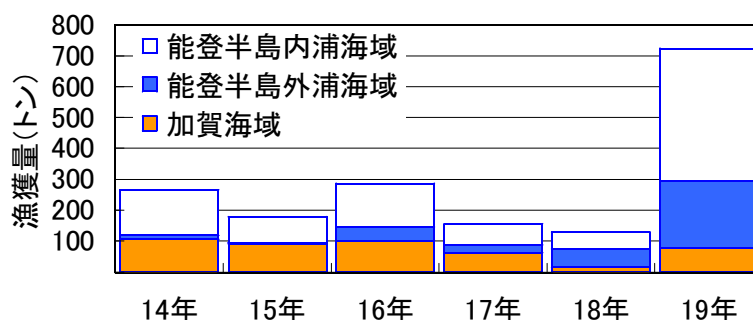
最も多く漁獲されたのはマアジの314トンで、平年をやや下回りました。

サワラ（サゴシを含む。）は273トンで平年をかなり上回りました。4月～7月の漁獲量は過去5カ年平均の355%と好漁が続いており、特に、能登半島外浦海域では過去5カ年平均の746%、内浦海域では434%と好調でした。

フクラギ・コゾクラは121トンで平年をやや上回りました。

マイワシは72トンで平年

をかなり上回りました。



定置網漁業によるサワラ・サゴシ漁獲量
(県内主要10港の4～7月漁獲量)

【まき網】

主要10港合計は**772トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの323トンで、平年をやや上回りました。

マイワシは210トンで平年をやや上回りました。体長は18～22cmが主体でした。

【刺網】

主要10港合計は**180トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはサザエの52トンで、平年並みでした。

アマダイは19トンで平年をやや上回りました。

キダイ（めっきだい）は11トンで平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**47トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマダイの11トンで、平年をかなり上回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**6トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	7月漁獲量(トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,759	1,778 →	1,919 →	16,528	18,957 →	
マアジ	314	248 △	436 ▼	2,476	2,825 →	
サワラ	273	77 △△△	31 △△△	1,196	252 △△△	
カタクチイワシ	189	46 △△△	46 △△△	4,539	2,023 △△	
フクラギ、コゾクラ	121	23 △△△	63 △	1,149	838 △	
トビウオ類	76	141 ▼	115 ▼	203	250 ▼	
マイワシ	72	4 △△△	3 △△△	147	709 ▼▼	
マサバ	34	14 △△	60 ▼	680	691 →	
ソウダガツオ	21	0 △△△	5 △△△	825	533 △	
スルメイカ	19	13 △	16 →	433	939 ▼▼	
マダイ	18	25 ▼	18 →	199	184 →	
シイラ	16	5 △△△	9 △	300	302 →	
ウマヅラハギ	10	17 ▼	12 ▼	179	698 ▼▼	
ケンサキイカ	7	6 →	5 △	13	9 △	
ブリ	6	7 →	5 →	887	414 △△	
アカマス	5	0 △△△	1 △△△	174	232 ▼	
その他	97	155 ▼	103 →	1,610	2,083 ▼	
合計	1,278	780 △	928 △	15,012	12,983 →	
1隻当たり	0.73	0.44 △	0.48 △	0.91	0.68 △	

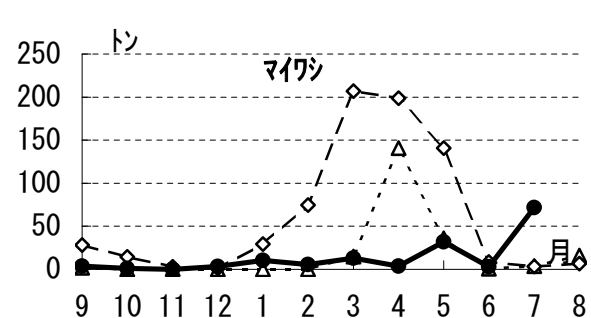
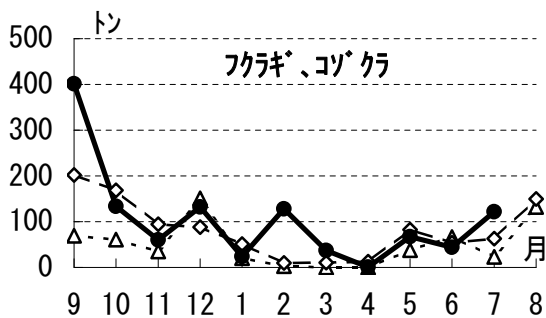
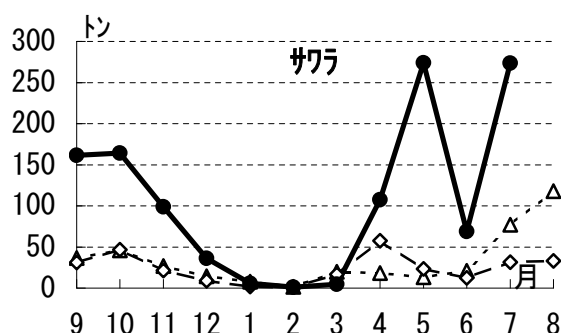
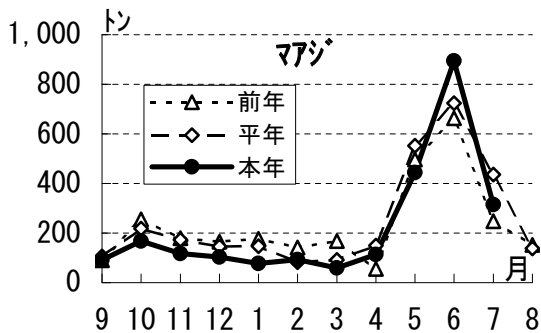
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (7月:定置網)

単位:トン

	サワラ	カタクチイワシ	アジ類	ブリ、ガント	マサバ	フクラギ	マイワシ	トビウオ類
舞鶴	320.7	296.4	104.2	63.9	57.6	26.4	10.3	15.9
氷見	601.5	84.2	54.2	0.0	0.3	24.2	18.7	0.0

各府県水試調べによる(速報値)



定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	7月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	60	43 △	52 →		243	327 ▼	
マヅ	323	63 △△△	164 △		1,016	2,607 ▼▼	
マイヅ	210	49 △△△	140 △		214	1,792 ▼▼	
ブリ	100	3 △△△	5 △△△		523	60 △△△	
フナギ	54	1 △△△	33 △		137	150 →	
マサバ	52	3 △△△	98 ▼		1,152	2,479 ▼▼	
その他	32	87 ▼▼	80 ▼▼		321	1,005 ▼▼	
合計	772	207 △△△	518 △		3,362	8,093 ▼▼	
1隻当たり	13	5 △△	10 △		14	25 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	7月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	6,115	5,163 →	6,260 →		25,755	28,244 →	
サザエ	52	52 →	51 →		136	116 →	
アマダイ類	19	12 △	14 △		42	35 △	
キダイ	11	9 △	9 →		24	24 →	
ウマヅラハギ	10	24 ▼▼	21 ▼▼		90	82 →	
マダコ	8	4 △	7 →		24	27 →	
アカムツ	8	2 △△△	2 △△△		19	8 △△	
アカガレイ	7	5 △	4 △		46	45 →	
チダイ	6	7 ▼	4 △		12	12 →	
ハツメ	4	1 △△△	11 ▼▼		42	55 ▼	
マダイ	4	3 →	3 →		30	39 ▼	
その他	52	41 △	82 ▼		956	1,058 →	
合計	180	161 →	209 →		1,422	1,499 →	
1隻当たり	0.03	0.03 →	0.03 →		0.06	0.05 →	
釣り							
延隻数	1,703	1,444 →	1,659 →		6,369	7,236 →	
マダイ	11	4 △△	5 △△		43	34 △	
ホッケ	10	4 △△	3 △△△		11	10 →	
タチウオ	2	1 △	2 →		4	4 →	
フナギ	2	0 △△△	1 △		12	19 ▼	
ウスハル	1	3 ▼▼	6 ▼▼		10	31 ▼▼	
その他	23	28 ▼	56 ▼▼		109	214 ▼	
合計	47	37 △	67 ▼		178	281 ▼	
1隻当たり	0.03	0.03 →	0.04 ▼		0.03	0.04 ▼	
イカ釣り(小型)							
延隻数	150	292 ▼	378 ▼▼		3,372	4,938 ▼	
スルメイカ	6	142 ▼▼	232 ▼▼		1,199	2,809 ▼▼	
1隻当たり	0.04	0.49 ▼▼	0.61 ▼▼		0.36	0.57 ▼	

※表(比率)の見方

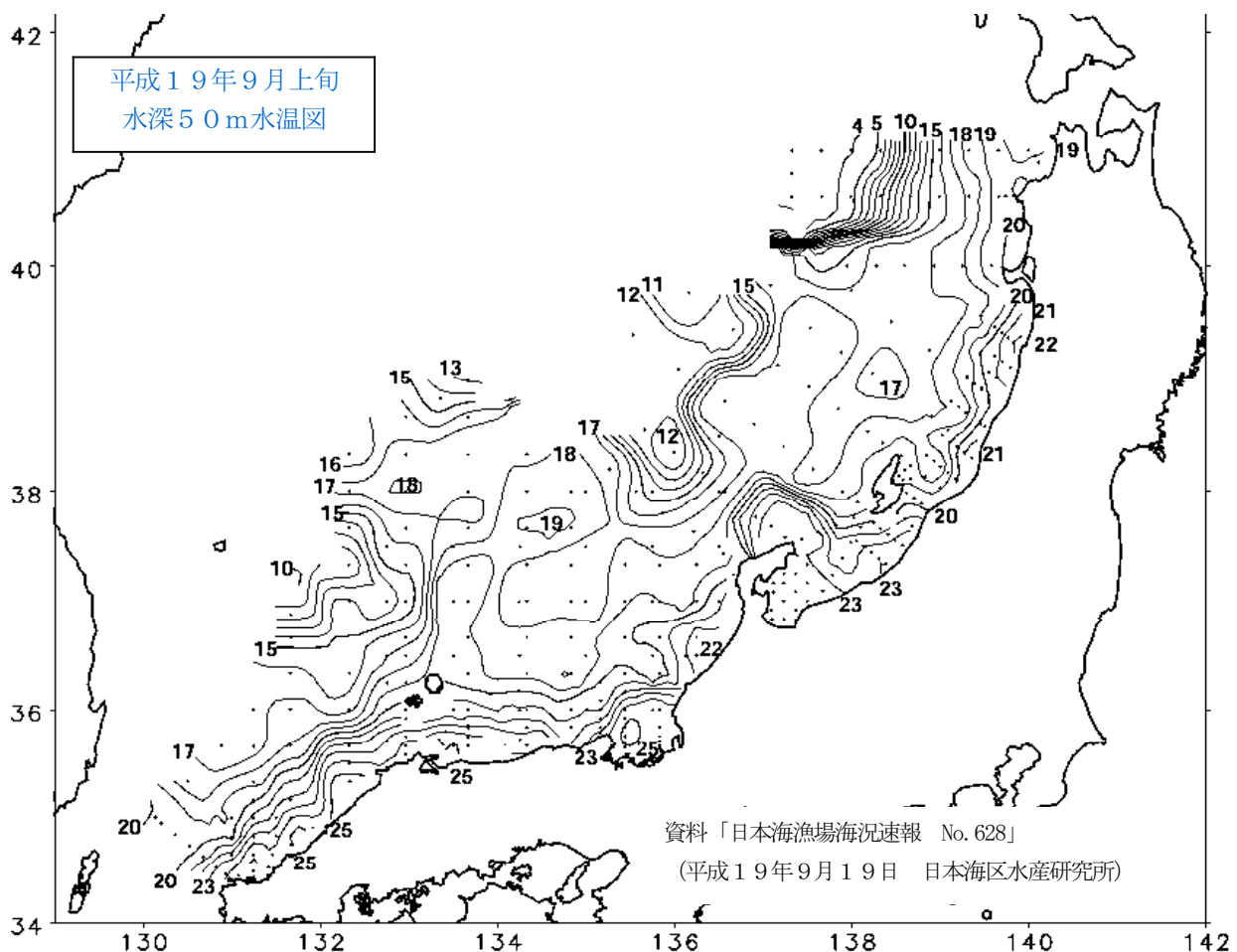
▼▼ 51~83% △ 120~199%
 △△ 200~299%

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“やや高め”、能登半島外浦沖で“平年並み”から“かなり高め”、富山湾で“やや高め”。

定置網ではサワラ・マイワシが平年をかなり上回り、マアジが平年をやや上回った。刺し網ではサザエが平年をやや下回り、釣りではマダイが平年並み。

1 水温の状況 — 9月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は17～23℃台を示し、加賀沖では“やや高め”（1～2℃高め）、能登半島外浦沖では“平年並み”から“かなり高め”（0～3℃高め）、富山湾では“やや高め”（1～2℃高め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は26～27℃台を示し、加賀沖では“かなり高め”（1～2℃高め）、能登半島外浦沖では“やや高め”から“かなり高め”（0～2℃高め）、富山湾では“やや高め”（1～2℃高め）の水温分布を示しています。
- (3) 加賀沖・能登半島西方沖には引き続き暖水域が広がっています。能登半島北西沖には冷水域の張り出しがみられ、先月と比較すると能登半島へ接岸する傾向にあります。
- (4) 佐渡沖の冷水域の張り出しは能登半島からかなり離れています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、沿岸域は“平年並み”～“やや高め”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 8月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,050トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはサワラ（サゴシを含む。）の219トンで、平年をかなり上回りました。5月以降、好漁が続いており、8月は七尾地区でまとまった水揚げがありました。マアジは172トンで平年をやや上回りました。

フクラギ・コゾクラは160トンで平年並みでした。

マイワシは60トンで平年をかなり上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**1,096トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの427トンで、平年をやや上回りました。

フクラギ・コゾクラは266トンで平年をかなり上回りました。

マイワシは264トンで平年をかなり上回りました。

【刺網】

主要10港合計は**139トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはサザエの20トンで、平年をやや下回りました。

ハタハタは19トンで平年をやや上回りました。

アカガレイは14トンで平年をかなり上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**35トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマダイの3トンで、平年並でした。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**3トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

■■■■ 底びき網漁業の水揚げ状況（解禁から9月20日までの速報値） ■■■■

石川県沖では9月1日から底びき網漁業の操業が始まり、主要港（橋立・金沢・富来・輪島・蛸島）の9月20日までの漁獲量（速報値）は407トンで、前年の134%、平年の107%となっています。

アマエビは、橋立港・金沢港で前年並みとなっており、全体の漁獲量は前年の91%、平年の103%でした。

ハタハタは、蛸島港で前年をかなり下回りましたが富来港・輪島港で前年を上回り、全体の漁獲量は前年の81%、平年の151%、でした。

アカガレイは橋立港・金沢港・輪島港で好漁となっており、全体の漁獲量は前年の234%、平年の181%でした。

ニギスはいずれの港でも好漁となっており、全体の漁獲量は前年の226%、平年の119%でした。

その他、ヤナギムシガレイ（めがれい）、ムシガレイ（すがれい）、アンコウは前年・平年を上回り、マガレイ（くちぼそがれい）は前年・平年を下回りました。

平均単価は、ハタハタ・ヤナギムシガレイ（めがれい）・マガレイ（くちぼそがれい）が前年より高め、アマエビ・アカガレイ・ニギス・ムシガレイ（すがれい）・アンコウが前年より低め、全魚種では前年の82%となっています。

主要港の底びき網漁業漁獲量（9月1日～20日まで）

	漁獲量(トン)				
	本年	前年	前年比	平年	平年比
あまえび	59	65	91%	57	103%
はたはた	28	35	81%	19	151%
あかがれい	39	17	234%	21	181%
にぎす	83	37	226%	70	119%
めがれい(ヤナギムシガレイ)	17	13	132%	15	110%
くちぼそがれい(マガレイ)	12	13	96%	15	80%
すがれい(ムシガレイ)	21	13	163%	17	122%
あんこう	39	29	133%	34	115%
その他	109	81	134%	130	84%
合計	407	303	134%	379	107%

各港の毎日の漁獲量は水産総合センターのホームページで確認できます。

<http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	8月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,320	1,687 ▼	1,572 →	17,848	20,529 →	
サワラ	219	118 △	33 △△△	1,416	286 △△△	
カクチイワ	190	91 △△	108 △	4,729	2,131 △△	
マアジ	172	152 →	138 △	2,648	2,962 →	
フクラギ、コ	160	132 △	150 →	1,310	988 △	
マイワシ	60	16 △△△	7 △△△	207	716 ▼▼	
マルソウダ	51	4 △△△	12 △△△	876	545 △	
マサバ	46	26 △	29 △	726	721 →	
マダイ	21	19 →	14 △	220	198 →	
シイラ	18	13 △	34 ▼	318	336 →	
トビウオ類	6	11 ▼	8 ▼	209	258 ▼	
ウマヅラハ	5	14 ▼▼	10 ▼▼	184	708 ▼▼	
ガント	4	40 ▼▼	8 ▼▼	46	147 ▼▼	
ケンサキイカ	4	3 △	3 △	17	12 △	
ヒラメ	3	3 →	2 △△	25	14 △	
マダコ	2	2 →	1 △	18	13 △	
その他	90	71 △	93 →	3,114	3,598 →	
合計	1,050	716 △	650 △	16,063	13,633 →	
1隻当た	0.80	0.42 △	0.41 △	0.90	0.66 △	

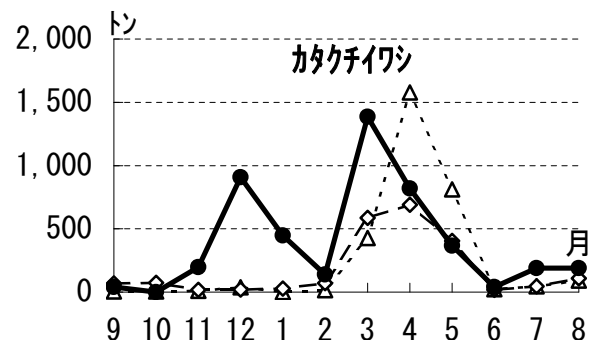
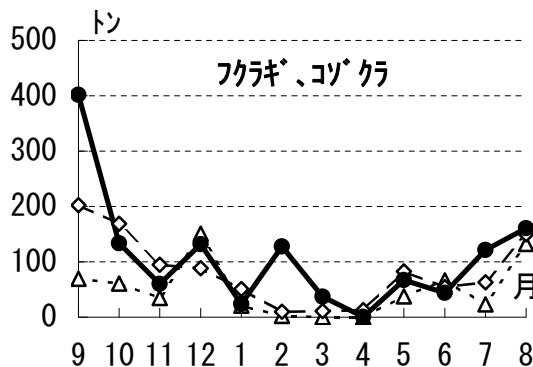
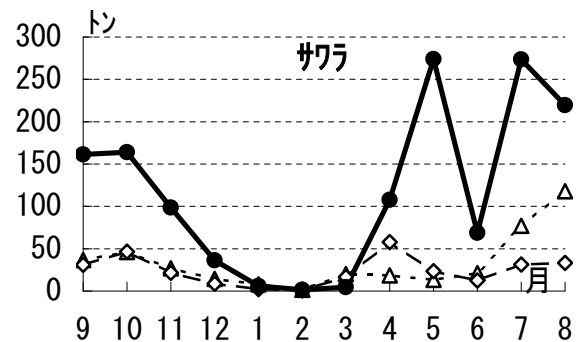
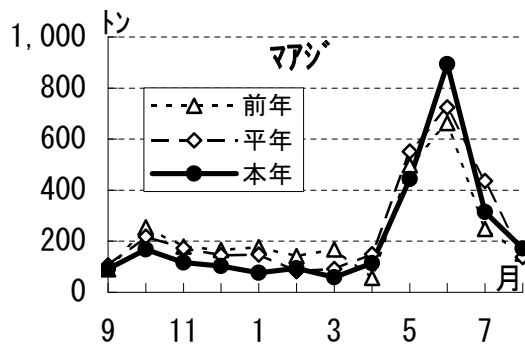
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (8月：定置網)

単位：トン

	サワラ	カクチイワシ	フクラギ	アジ類	ソウダカツオ	マイワシ	マサバ	マダイ
舞鶴	108.4	183.6	71.5	69.3	0.0	4.3	6.5	0.8
氷見	233.4	79.1	68.0	26.1	26.0	12.3	1.3	6.2

各府県水試調べによる (速報値)



定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	8月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	110	100 →	94 →		353	421 →	
マヅ	427	167 △△	251 △		1,444	2,858 ▼	
フケギ	266	137 △	101 △△		403	250 △	
マイヅ	264	2 △△△	12 △△△		478	1,804 ▼▼	
ガント	53	279 ▼▼	133 ▼▼		229	308 ▼	
マサバ	49	153 ▼▼	247 ▼▼		1,201	2,726 ▼▼	
その他	36	7 △△△	157 ▼▼		704	1,047 ▼	
合計	1,096	745 △	900 △		4,458	8,993 ▼▼	
1隻当た	10	7 △	10 →		13	21 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	8月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	4,449	5,301 →	4,854 →		30,204	33,099 →	
サザエ	20	30 ▼	25 ▼		156	141 →	
ハタハタ	19	20 →	13 △		29	20 △	
アカレイ	14	13 →	5 △△△		61	49 △	
アマダイ類	14	12 →	12 →		56	47 →	
ハツメ	10	4 △△	9 →		52	63 ▼	
マダコ	6	6 →	5 →		29	33 →	
キダイ	5	8 ▼	7 ▼		30	31 →	
ニギス	5	5 →	12 ▼▼		11	24 ▼▼	
アカムツ	4	4 →	2 △		23	10 △△	
メダイ	3	2 △	2 △△		27	39 ▼	
その他	39	58 ▼	61 ▼		1,088	1,193 →	
合計	139	162 →	152 →		1,561	1,651 →	
1隻当た	0.03	0.03 →	0.03 →		0.05	0.05 →	
釣り							
延隻数	1,327	1,516 →	1,479 →		7,696	8,715 →	
メダイ	3	3 →	4 →		46	38 △	
ホッケ	2	2 △	2 →		13	12 →	
ウスバル	2	4 ▼	6 ▼▼		13	37 ▼▼	
マヅ	2	5 ▼▼	2 →		5	4 →	
キダイ	1	1 ▼	0 △		2	1 △	
その他	25	23 →	39 ▼		136	243 ▼	
合計	35	36 →	52 ▼		213	334 ▼	
1隻当た	0.03	0.02 →	0.04 ▼		0.03	0.04 ▼	
イカ釣り(小型)							
延隻数	79	104 ▼	172 ▼▼		3,451	5,110 ▼	
スルメイカ	3	9 ▼▼	159 ▼▼		1,202	2,968 ▼▼	
1隻当た	0.03	0.09 ▼▼	0.92 ▼▼		0.35	0.58 ▼	

※表 (比率) の見方 ▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第131号

電話：0768-62-1324 http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm

底びき網漁業の水揚げ状況について（平成18年漁期）

- ① 集計期間：平成18年漁期（平成18年7月～19年6月）
- ② 集計対象港と漁業種類：石川県主要港の沖合底びき網漁業と小型底びき網第1種漁業
（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港地区）

1 水揚げ量

石川県内主要港における平成18年漁期の総水揚げ量は5,897トンで、平年（過去10年の平均）の97%、前年の99%でした（図1）。

平成14年漁期以降好漁が続いていたのは前年の51%とかなり減少しましたが、あまえび・ほたるいか・あんこうは好調でした。

2 水揚げ金額

総水揚げ金額は40億24百万円で、平年の90%、前年の106%でした（図1）。

平成14年漁期には平成7年漁期の60%にまで減少しましたが、その後は横ばいで推移しています。

3 年間出漁回数

年間延べ出漁回数は13,764回で、平年の95%、前年の106%でした（図2上）。

操業隻数の減少が続いていることから延べ出漁回数も減少傾向にあります。平成18年漁期は記録的な暖冬であったことから、12月～2月の出漁回数は過去10年間で最も多くなりました。

4 出漁1回当たりの水揚げ金額

出漁1回当たりの平均水揚げ金額は29万円で、平年の95%、前年の100%でした（図2下）。

平成13年漁期まで減少傾向が続いていましたが、その後は横ばいで推移しています。

5 県内の産地価格

県内産地価格（底びき網漁業）の推移について、平成7年漁期を100とした産地物価指数でみると、平成18年漁期は75で前年並みでした（図2下）。はたはた・にぎす・ほたるいかは前年を上回りましたが、あまえび・かれい類・こうばこが前年を下回りました。

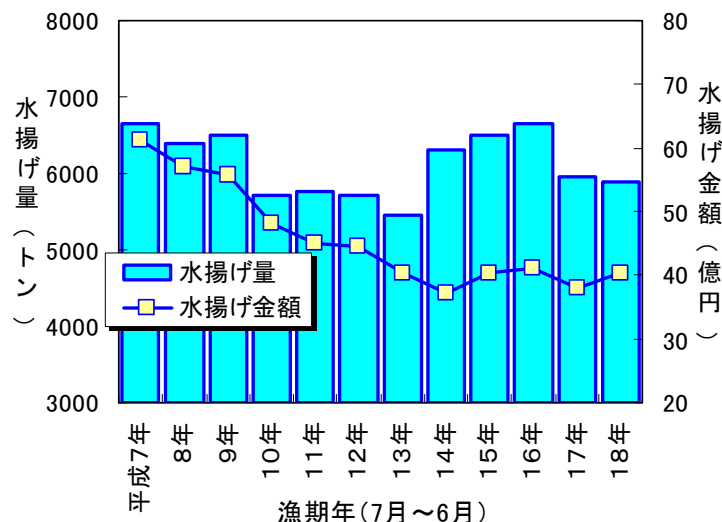


図1 底びき網漁業の水揚げ量と金額

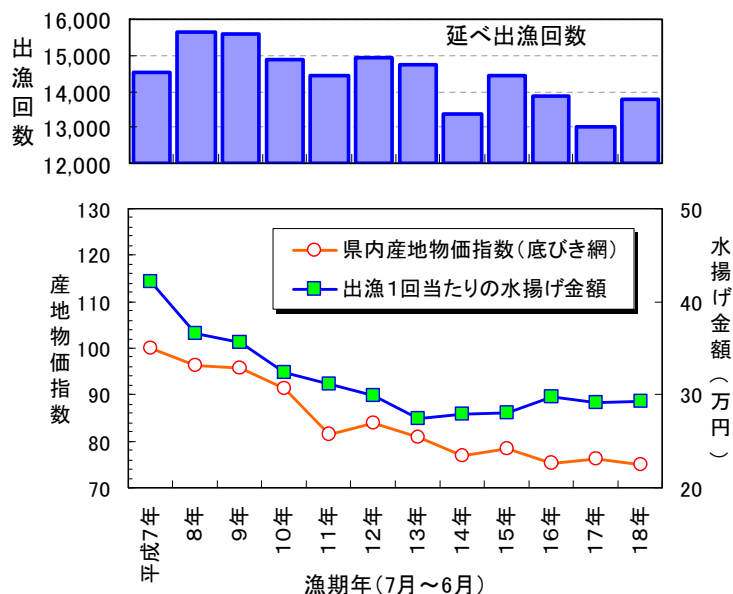


図2 底びき網漁業の出漁回数・出漁1回当たりの水揚げ金額・産地物価指数

6 主要魚種の水揚げ状況 (図3)

(1) ずわいがに・こうばこがに

ずわいがに(雄)の出漁1回当たりの漁獲量は48kgで、平年の82%、前年の86%でした。平成12年漁期以降は低い水準で横ばい傾向が続いています。

こうばこがにの出漁1回当たりの漁獲量は84kgで、平年の124%、前年の94%でした。過去10年間では前年に次いで高い値となりました。

(2) あまえび

出漁1回当たりの漁獲量は54kgで、平年の124%、前年の123%でした。近年では、平成16年漁期以降、増加傾向にあります。

(3) にぎす

出漁1回当たりの漁獲量は61kgで、平年の102%、前年の90%でした。平成14年漁期には平成7年漁期の51%にまで減少しましたが、その後は増加傾向にあります。

(4) はたはた

出漁1回当たりの漁獲量は45kgで、平年の87%、前年の48%でした。平成14年漁期以降、高い水準で推移していましたが、平成18年漁期の冬以降は前年をかなり下回って推移しています。

(5) かれい類

あかがれいの出漁1回当たりの漁獲量は40kgで、平年の77%、前年の85%でした。

めがれい(ヤギムガレ)の出漁1回当たりの漁獲量は10kgで、平年の126%、前年の128%でした。

すがれい(ムガレ)の出漁1回当たりの漁獲量は8kgで、平年の117%、前年の111%でした。

7 主要魚種の産地価格

主要魚種の平均単価の推移を図4(平成7年を100とした指数で表示)に示しました。

平成7年漁期以降で上昇傾向にあるずわいがに(雄)は119で前年並みでした。あまえびは68で低下傾向が続いています。はたはたは77で水揚げ量が急減したこともあり前年をかなり上回りました。その他の魚種では、こうばこがに41、あかがれい77、にぎす87でした。

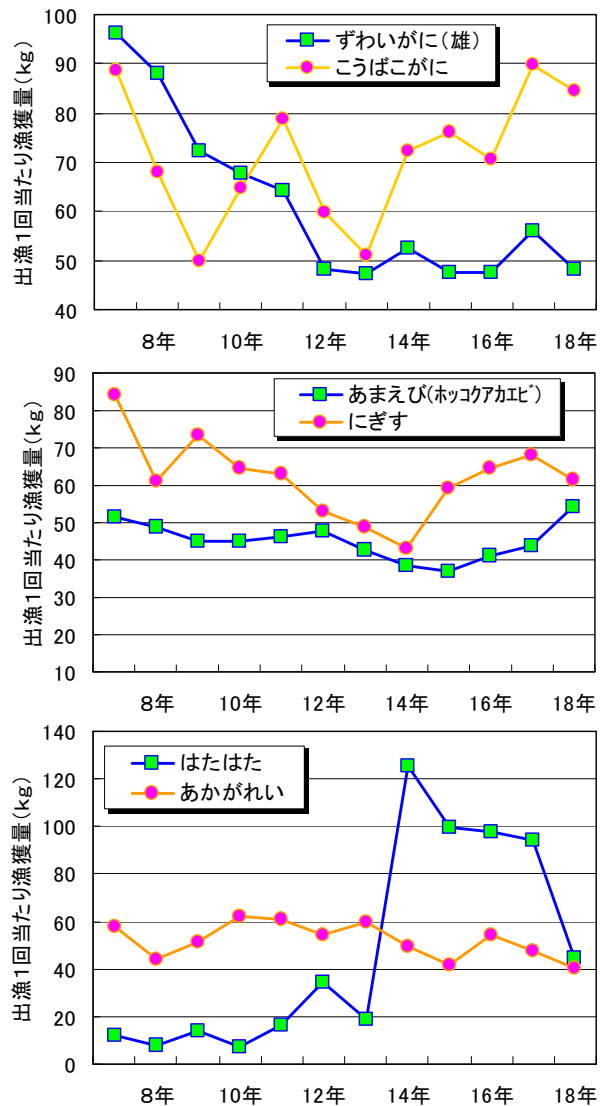


図3 主要魚種の出漁1回当たり漁獲量

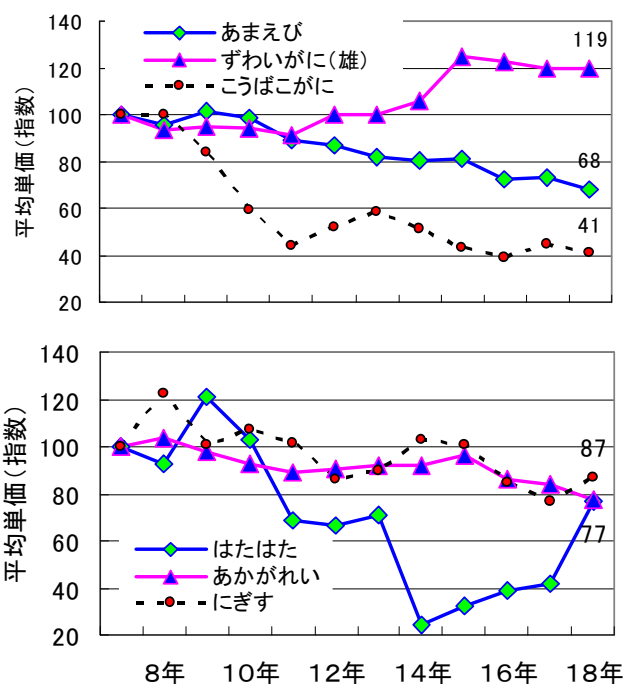


図4 主要魚種の平均単価(指数)の推移(平成7年=100)

石川県水産総合センター漁海況情報 第134号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

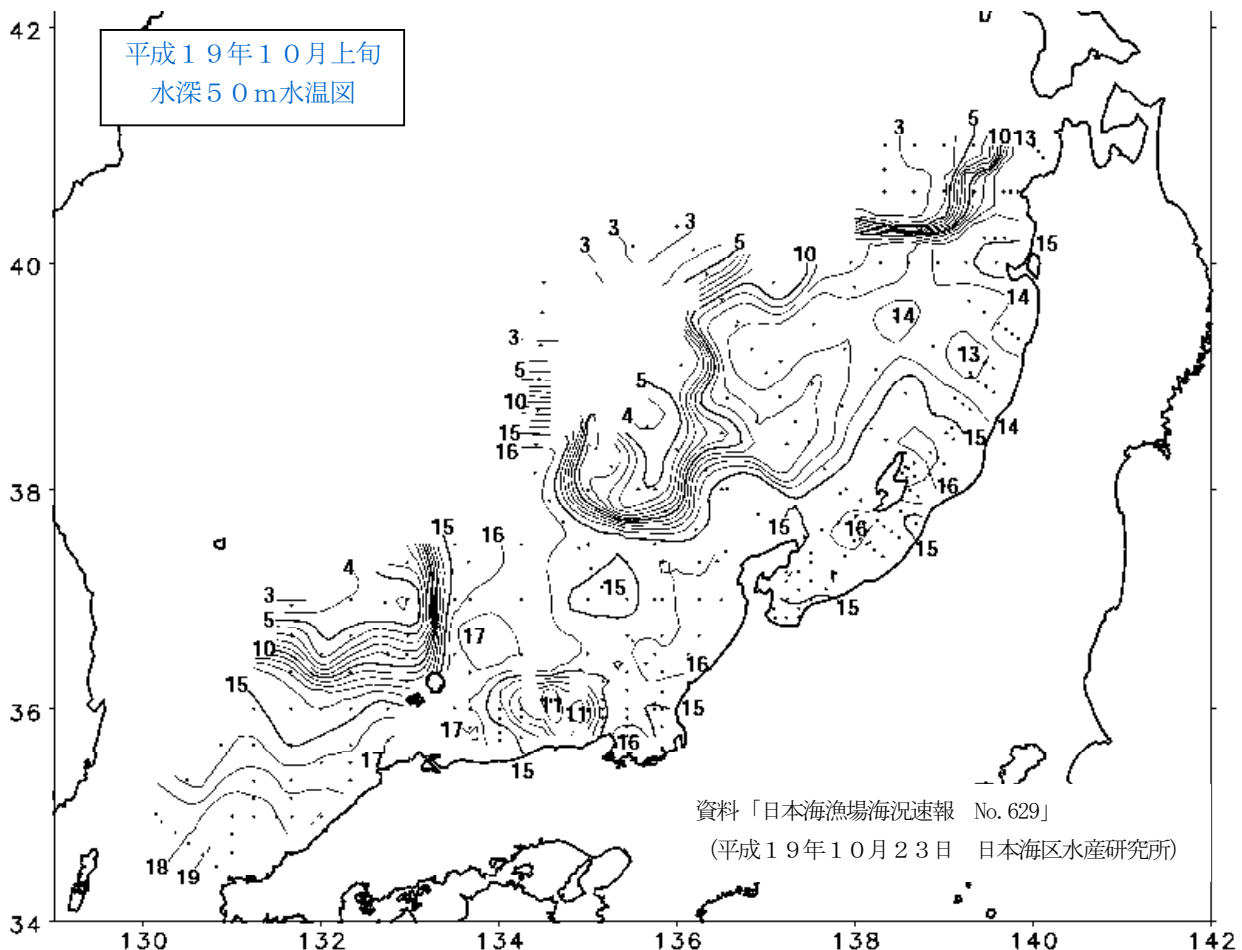
本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“やや高め”、能登半島外浦沖で“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“やや高め”。

定置網ではサワラが平年をかなり上回り、フクラギ・マアジが平年並み。

底びき網ではニギス・アマエビが平年並み、刺網ではハツメ(あからばちめ)が平年をやや上回った。

1 水温の状況 - 10月定線観測結果 -

- (1) 本県周辺の水深50m水温は19～23℃台を示し、加賀沖では“やや高め”(1～2℃高め)、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は24～26℃台を示し、加賀沖・能登半島外浦沖では“かなり高め”から“はなはだ高め”(1～2℃高め)、富山湾では“はなはだ高め”(2～3℃高め)の水温分布を示しています。
- (3) 加賀沖・能登半島西方沖には引き続き暖水域が分布しています。能登半島北西沖には冷水域の張り出しがみられます。
- (4) 佐渡島周辺は暖水域で広く覆われています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、沿岸域は“平年並み”から“やや高め”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 9月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**721トン**で、**平年（過去10カ年平均）並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはサワラ（サゴシを含む。）の229トンで、平年をかなり上回りました。9月は外浦海域全域でまとまった水揚げがありました。
フクラギ・コゾクラは181トンで平年並みでした。
マアジは122トンで平年並みでした。

【底びき網】

主要10港合計は**626トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはニギスの132トンで、平年並みでした。
アマエビは95トンで平年並みでした。
アンコウは54トンで平年並みでした。

【まき網】

主要10港合計は**1,383トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはガンドの808トンで、平年をかなり上回りました。
マサバは384トンで平年並みでした。
フクラギ・コゾクラは122トンで平年をやや下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**97トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはハツメ（あからばちめ）の17トンで、平年をやや上回りました。
ウマヅラハギ（かわはぎ）は16トンで平年をやや下回りました。
アマダイは9トンで平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**17トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマダイの2トンで、平年をかなり下回りました。
いか釣り（小型）の主要10港合計は**1トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。大和堆周辺で操業する小型いか釣り船が少なく、県内各港への水揚げはほとんど見られませんでした。

■■■ 「平成19年度第3回日本海海況予報（平成19年10月3日）」の概要 ■■■

日本海沿岸の道府県水産研究機関と水産総合研究センター日本海区水産研究所が検討しとりまとめた日本海海況予報が以下のとおり発表されました。

1 現況（2007年9月）

- (1) 暖水域は、丹後半島北方、佐渡島北西、佐渡島北方に分布。
- (2) 山陰・若狭沖の冷水域は、規模は小さく離岸。佐渡島沖の冷水域は、規模は小さく接岸状況は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、ほぼ全域で“平年並み”～“やや高め”となり、隠岐諸島～能登半島では“かなり高め”の海域が広範囲に分布。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部および北部とも“平年並み”。

2 今後の見通し（2007年10月～12月）

- (1) 丹後半島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。佐渡島北西及び佐渡島北方の暖水域は、北東に移動する。
- (2) 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、弱い。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“平年並み”、北部は“やや高め”で経過する。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	9月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延統数	1,223	1,163 →	1,381 →		1,223	1,381 →	
サワラ	229	161 △	47 △△△		229	47 △△△	
フクラギ、コゾクラ	181	402 ▼▼	183 →		181	183 →	
マアジ	122	92 △	109 →		122	109 →	
シイラ	31	53 ▼	77 ▼▼		31	77 ▼▼	
マサバ	26	142 ▼▼	47 ▼		26	47 ▼	
カタチイワシ	20	41 ▼▼	73 ▼▼		20	73 ▼▼	
アオリイカ	18	10 △	12 △		18	12 △	
アカマス	11	6 △	45 ▼▼		11	45 ▼▼	
ソウダカツオ	9	2 △△△	12 ▼		9	12 ▼	
マイワシ	7	4 △	4 △		7	4 △	
マダイ	7	8 →	7 →		7	7 →	
ウマヅラハギ	7	7 →	16 ▼▼		7	16 ▼▼	
ウルメイワシ	2	2 →	9 ▼▼		2	9 ▼▼	
ケンサキイカ	2	1 △	1 →		2	1 →	
ヒラメ	1	1 ▼	1 △		1	1 △	
その他	48	65 ▼	84 ▼		48	84 ▼	
合計	721	997 ▼	728 →		721	728 →	
1隻当たり	0.59	0.86 ▼	0.53 →		0.59	0.53 →	

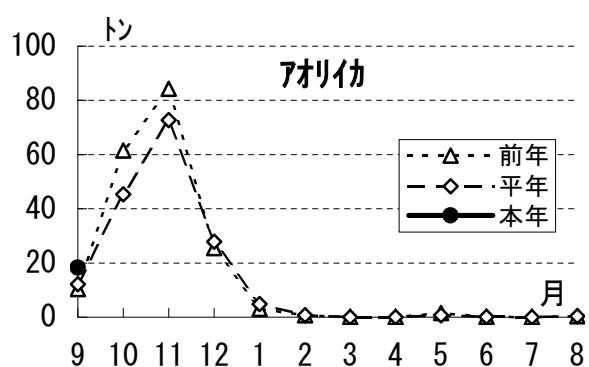
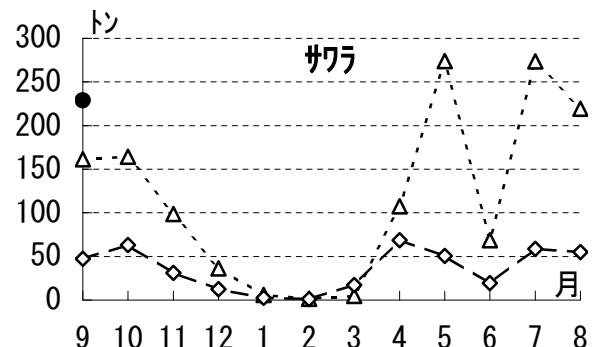
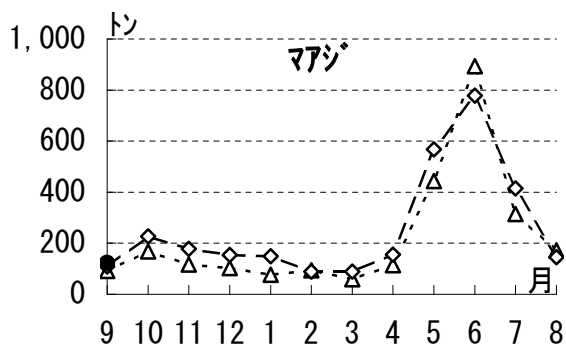
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (9月：定置網)

単位：トン

	サワラ	フクラギ	シイラ	アジ類	フグ類	アカマス	アオリイカ	ソウダカツオ
舞鶴	371.3	67.9	43.6	94.2	35.0	1.4	0.8	0.0
氷見	40.8	260.6	69.9	14.5	33.8	30.9	26.4	25.4

各府県水試調べによる (速報値)

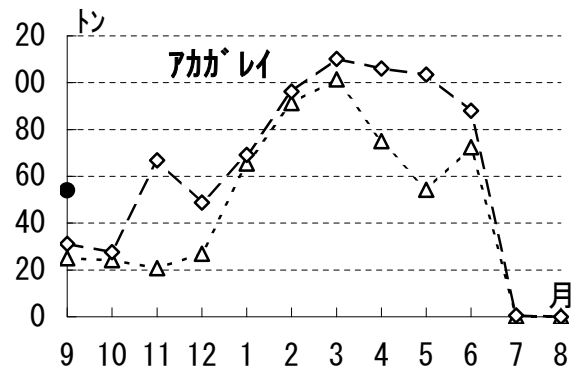
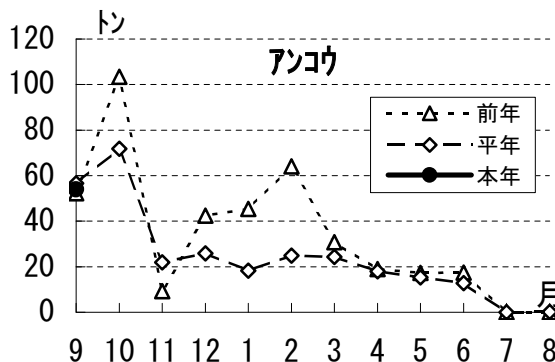
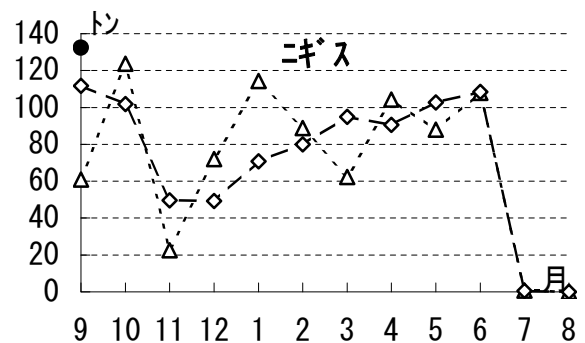
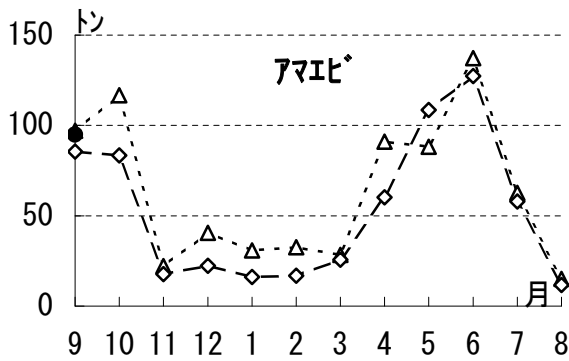


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	9月漁獲量(トン)				累計漁獲量(9月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	1,380	1,252	→	1,553	→	1,380	1,553	→
ニギス	132	61	△△	112	→	132	112	→
アマヒ	95	97	→	86	→	95	86	→
アンコウ	54	52	→	57	→	54	57	→
アカレイ	54	25	△△	31	△	54	31	△
ハタハタ	40	59	▼	31	△	40	31	△
ムシガレイ	25	18	△	23	→	25	23	→
ホッケ	22	13	△	11	△△	22	11	△△
ヤギムシガレイ	21	20	→	21	→	21	21	→
マガレイ	19	19	→	22	→	19	22	→
ヤリイカ	12	8	△	26	▼▼	12	26	▼▼
ソウハチ	12	6	△△	12	→	12	12	→
マダラ	10	2	△△△	3	△△△	10	3	△△△
ガスエビ	10	12	▼	15	▼	10	15	▼
ヒレグロ	9	5	△	5	△	9	5	△
マダイ	7	7	→	9	▼	7	9	▼
キダイ	6	8	▼	11	▼	6	11	▼
アカムツ	5	2	△△	4	△	5	4	△
ハツメ	5	2	△△	4	→	5	4	→
ウマヅラハギ	4	3	△	6	▼	4	6	▼
マコガレイ	3	4	→	4	→	3	4	→
その他	80	63	△	92	→	80	92	→
合計	626	486	△	583	→	626	583	→
1隻当たり	0.45	0.39	→	0.38	△	0.45	0.38	△

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	9月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	119	104 →	111 →		472	532 →	
ガント	808	115 △△△	331 △△		1,036	639 △	
マサバ	384	241 △	365 →		1,585	3,091 ▼	
フクラギ	122	48 △△	175 ▼		525	426 △	
マヅ	48	69 ▼	236 ▼▼		1,492	3,094 ▼▼	
サワ	11	0 △△△	1 △△△		12	3 △△△	
その他	11	174 ▼▼	198 ▼▼		1,192	3,047 ▼▼	
合計	1,383	647 △△	1,306 →		5,841	10,300 ▼	
1隻当たり	12	6 △	12 →		12	19 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	9月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	2,665	2,493 →	2,944 →		32,869	36,043 →	
ハツメ	17	5 △△△	9 △		68	72 →	
ウマヅラハギ	16	31 ▼	25 ▼		108	124 →	
アマダイ類	9	7 △	10 →		64	57 →	
アカガレイ	5	2 △△	1 △△△		65	50 △	
ハタハタ	4	5 →	2 △△		33	22 △	
キダイ	4	4 →	6 ▼		34	37 →	
マダイ	4	3 △	5 ▼		36	47 ▼	
ササエ	4	6 ▼	6 ▼		159	147 →	
ウスハル	4	1 △△	3 △		62	151 ▼▼	
アカムツ	3	1 △△	2 △		26	12 △△	
その他	29	17 △	35 →		1,001	1,034 →	
合計	97	82 →	102 →		1,658	1,754 →	
1隻当たり	0.04	0.03 →	0.03 →		0.05	0.05 →	
釣り							
延隻数	1,221	1,305 →	1,589 ▼		8,917	10,304 →	
マダイ	2	3 ▼	6 ▼▼		49	43 →	
サワ	2	0 △△△	0 △△△		4	0 △△△	
アオリカ	2	1 →	2 →		2	2 →	
ウスハル	1	0 △△	2 ▼		14	39 ▼▼	
キダイ	1	1 △	0 △△		3	1 △△	
その他	10	18 ▼	29 ▼▼		162	288 ▼	
合計	17	24 ▼	39 ▼▼		230	373 ▼	
1隻当たり	0.01	0.02 ▼	0.02 ▼		0.03	0.04 ▼	
イカ釣り(小型)							
延隻数	5	5 →	127 ▼▼		3,456	5,237 ▼	
ルメイカ	1	7 ▼▼	159 ▼▼		1,203	3,126 ▼▼	
1隻当たり	0.13	1.39 ▼▼	1.25 ▼▼		0.35	0.60 ▼	

※表(比率)の見方

▼▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

定置網漁業の水揚げ状況について（平成18年漁期）

- ① 集計期間：平成18年漁期（平成18年9月～19年8月）
- ② 漁業種類：石川県内主要港の大型定置網漁業と小型定置網漁業
- ③ 集計対象港：橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港・七尾地区

1 漁獲量

石川県内主要港における平成18年漁期の総漁獲量は16,062トンで、平年（過去10カ年の平均）の118%、前年の116%でした（図1）。

まいわし資源の減少により平成12年まで減少傾向にありましたが、その後はぶり・さわら・かたくちいわし等の好漁により持ち直しています。

2 水揚げ金額

水揚げ金額（推定値）は38.2億円で、平年の108%、前年の118%でした（図1）。

平成18年漁期は、ぶり・さわらが好漁したため前年をやや上回りました。

3 年間出漁日数

年間延べ出漁日数は17,848日で、平年の87%、前年の95%でした（図2）。

平成15年漁期以降、減少傾向が続いています。平成18年漁期では特に、台風に伴う急潮発生やエチゼンクラゲの来襲により、9・10月が平年の82%と大きく減少しました。

4 産地価格

県内産地価格（定置網漁業）の推移について、平成7年を100とした産地物価指数で見ると、平成18年漁期は80で前年をやや下回りました（図3）。

平成14年まで低下傾向でしたが、その後はぶり・まあじ・まだい等の価格がやや持ち直して横ばいで推移しています。

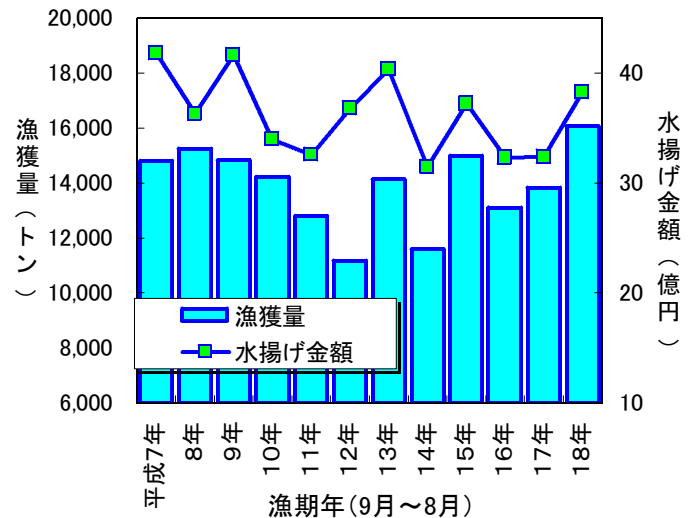


図1 定置網漁業の漁獲量と金額の推移

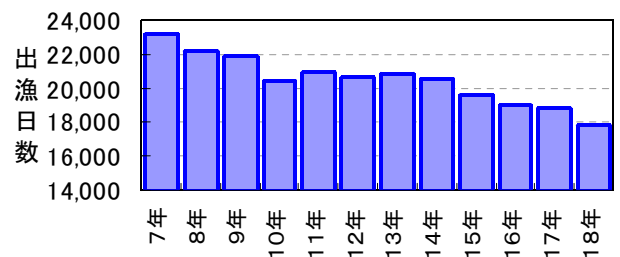


図2 定置網漁業の年間出漁日数の推移

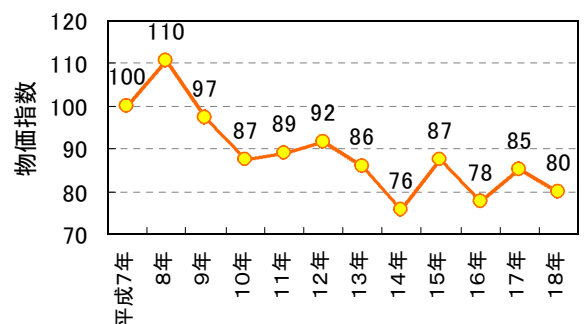


図3 県内産地物価指数（定置網漁業）の推移

5 主要魚種の漁獲量(図4)

(1) ぶり・がんど・ふくらぎ

ぶりの漁獲量は888トンで、平年の213%、前年の213%と好漁でした。「寒ぶり」の漁期である12～2月には、5～6kgサイズ(2歳魚)主体で平年をかなり上回る漁獲量が続きました。

がんどの漁獲量は46トンで、平年の31%、前年の7%と、周年にわたって平年をかなり下回る漁獲量が続きました。

ふくらぎ(こぞくらを含む。)の漁獲量は1,310トンで、平年の134%、前年の219%でした。

(2) まあじ・まさば

まあじの漁獲量は2,648トンで、平年の90%、前年の95%でした。近年では、平成16年以降、減少傾向にあります。

まさばの漁獲量は726トンで、平年の101%、前年の139%でした。

(3) するめいか

するめいかの漁獲量は434トンで、平年の46%、前年の25%でした。盛漁期である冬季に佐渡島周辺海域の水温がかなり高めで推移したことから、内浦海域への来遊状況は低調に推移し、平成7年以降では最も少ない漁獲量となりました。

(4) さわら

さわら(さごしを含む。)の漁獲量は1,416トンで、平年の493%、前年の354%と好漁でした。平成10年以降に急増し、近年は400～500トン台で推移していましたが、今漁期は外浦・内浦海域ともに近年の水準を大きく上回る漁獲量が続きました。

(5) くろまぐろ・まだい

くろまぐろの漁獲量は76トンで、平年の82%、前年の84%でした。

まだいの漁獲量は220トンで、平年の113%、前年の111%でした。

6 主要魚種の産地価格

主要魚種の平均単価の推移を図5(平成7年を100とした指数で表示)に示しました。

平成18年漁期は、ぶりが86で前年並みでした。がんどは70で、漁獲量が少なかったこともあり前年をかなり上回りました。ふくらぎは79、まあじは55で、いずれも前年をやや下回りました。さわらは48で、漁獲量が急増したものの前年をやや上回りました。まだいは67で前年並みでした。

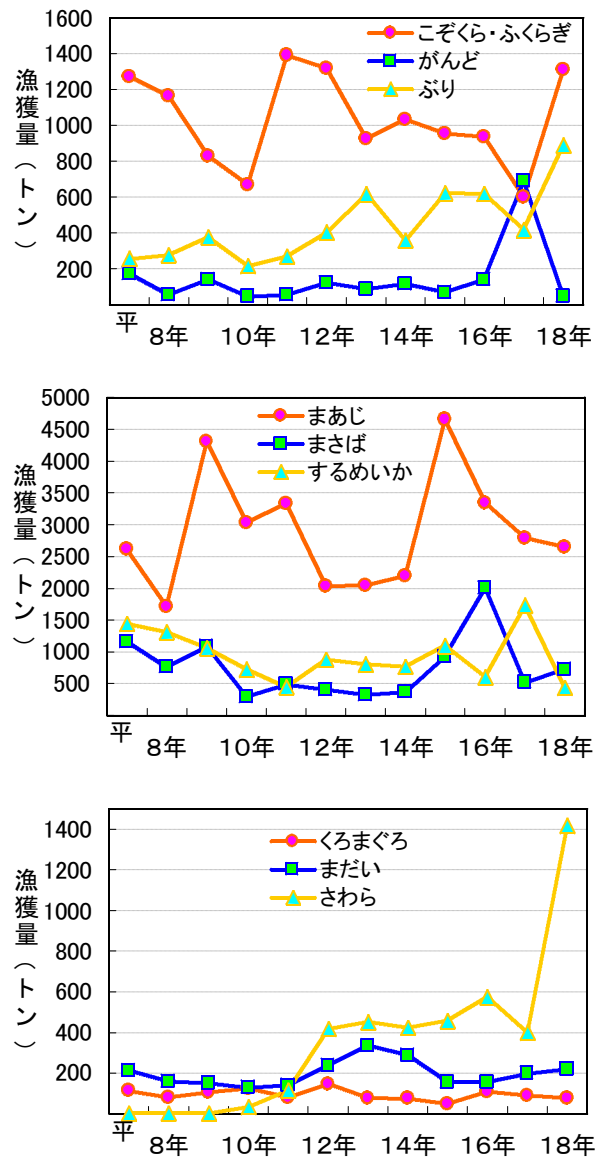


図4 主要魚種の漁獲量の推移

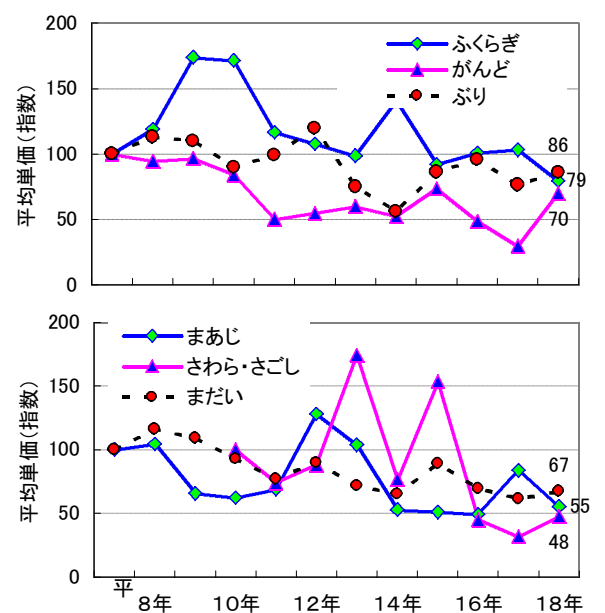


図5 主要魚種の平均単価(指数)

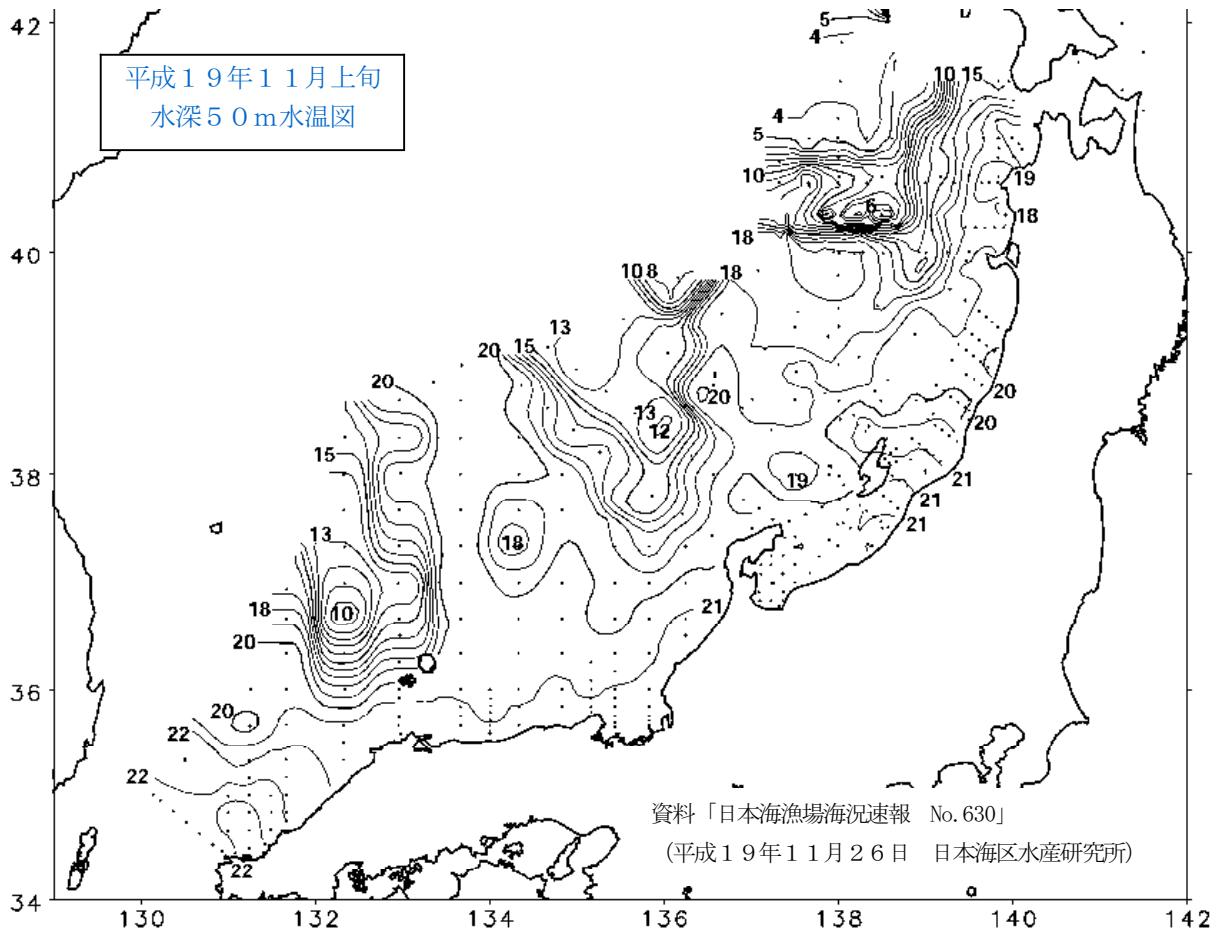
石川県水産総合センター漁海況情報 第135号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“やや高め”から“かなり高め”、能登半島外浦沖で“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“やや高め”。
定置網ではフクラギ・ソウダガツオが平年を上回り、マアジが平年並み。
底びき網ではニギス・アマエビ・アンコウが平年並み、刺網ではウマツラハギ(かわはぎ)が平年並み。

1 水温の状況 — 11月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は18～21℃台を示し、加賀沖では“やや高め”から“かなり高め”(1～2℃高め)、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は19～21℃台を示し、加賀沖では“やや高め”(0～1℃高め)、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (3) 加賀沖・能登半島西方沖には引き続き暖水域が分布しています。能登半島北西沖には冷水域の張り出しがみられ、先月と比較して接岸傾向にあります。
- (4) 佐渡島周辺は水温の高い海域が広がっています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、沿岸域は“やや高め”から“かなり高め”、大和堆から能登半島北西沖合にかけては“かなり低め”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 10月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,727トン**で、**平年（過去10年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはソウダガツオの692トンで、平年をかなり上回りました。

フクラギは271トンで平年をやや上回りました。

マアジは227トンで平年並みでした。

【底びき網】

主要10港合計は**674トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはニギスの107トンで、平年並みでした。

アマエビは93トンで平年並みでした。

アンコウは79トンで平年並みでした。

【まき網】

主要10港合計は**1,199トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはガンドの483トンで、平年をやや上回りました。

マアジは297トンで平年並みでした。

フクラギは172トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**135トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはウマヅラハギ(かわはぎ)の40トンで、平年並みでした。

ハツメ(あからばちめ)は16トンで平年並みでした。

ガンドは12トンで平年をかなり上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**46トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはガンドの7トンで、平年並みでした。

いか釣り(小型)の主要10港合計は**10トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

■■■ 加能ガニ(ズワイガニ)の水揚げ状況(11月6日~20日の速報値) ■■■

石川県沖では11月6日から加能ガニ(ズワイガニ)の漁期が始まりました。

11月20日までの橋立港・金沢港・輪島港・蛸島港におけるズワイガニ(雄)の漁獲量は68トンで、前年比213%、平年(過去10年平均)比88%でした。時化の日が少なく延べ出漁回数が前年をかなり上回ったことありますが、出漁1回当たりの漁獲量も前年を上回りました。

(前年比117%、平年比107%)

近年のズワイガニ(雄)の漁獲量は、低い水準で推移していましたが、今漁期は比較的好調なスタートとなりました。

また、この期間のコウバコガニ漁獲量は153トンで、前年比196%、平年比163%でした。出漁1回当たりの漁獲量は前年比110%、平年比161%で、過去10年間で最も高い値となりました。

コウバコガニ漁獲量は、平成14年漁期以降、増加傾向を示しています。

橋立港・金沢港・輪島港・蛸島港のズワイガニ・コウバコガニ漁獲量
集計期間:11月6日~20日(輪島港のみ15日まで)

	漁獲量(トン)					出漁1回当たりの平均漁獲量	
	本年	前年	前年比	平年	平年比	前年比	平年比
ズワイガニ(雄)	68	32	213%	77	88%	117%	107%
コウバコガニ	153	78	196%	94	163%	110%	161%
合計	221	110	201%	171	129%	115%	145%

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延統数	1,619	1,532 →	1,814 →		2,842	3,195 →	
ソウダカツオ	692	98 △△△	161 △△△		701	173 △△△	
フクラギ	271	133 △△	158 △		452	341 △	
マアジ	227	168 △	226 →		350	335 →	
サワラ	155	164 →	63 △△		384	110 △△△	
シイラ	98	113 →	114 →		129	190 ▼	
アカマス	75	44 △	99 ▼		86	144 ▼	
アオリイカ	44	62 ▼	45 →		62	57 →	
メジ	31	1 △△△	7 △△△		31	12 △△	
マサバ	26	87 ▼▼	46 ▼		53	93 ▼	
マダイ	15	23 ▼	9 △		22	16 △	
ウマヅラハギ	9	10 →	37 ▼▼		16	53 ▼▼	
ウルメイワシ	7	6 →	23 ▼▼		9	32 ▼▼	
マイワシ	4	1 △△△	6 ▼		11	10 →	
カタクチイワシ	2	1 △△	70 ▼▼		22	143 ▼▼	
ヒラマサ	2	1 △	11 ▼▼		2	15 ▼▼	
その他	70	118 ▼	122 ▼		120	199 ▼	
合計	1,727	1,031 △	1,197 △		2,448	1,925 △	
1隻当たり	1.07	0.67 △	0.66 △		0.86	0.60 △	

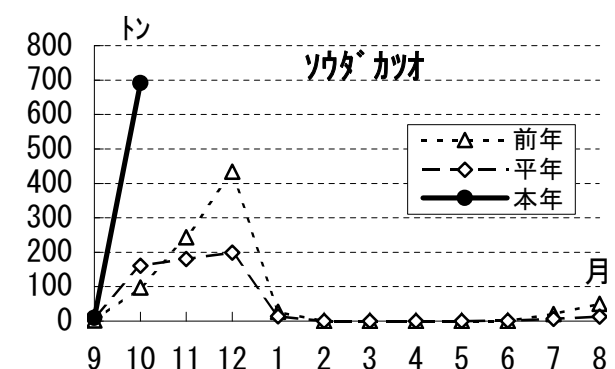
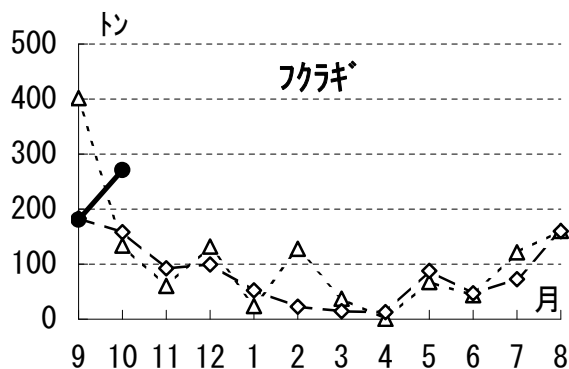
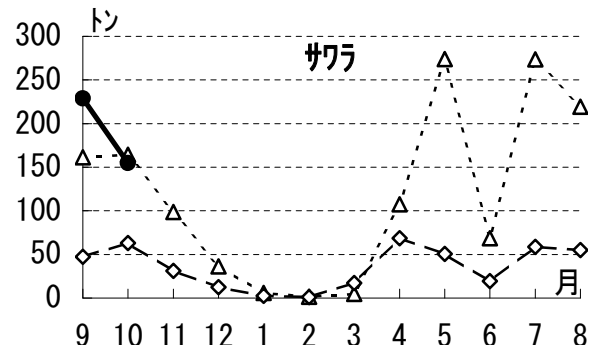
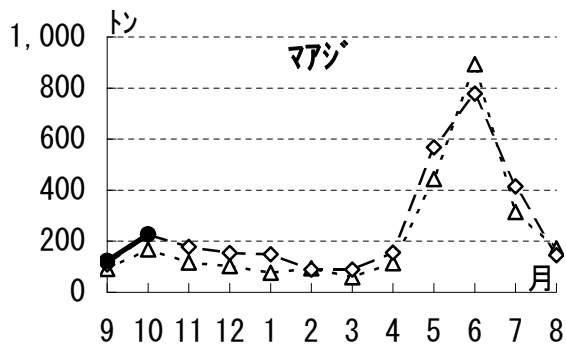
平年値は過去10年平均

単位：トン

他府県漁獲状況 (10月：定置網)

	ソウダカツオ	サワラ	フクラギ	シイラ	アジ類	アカマス	アオリイカ	フグ類
舞鶴	0.0	202.1	123.1	114.1	92.2	0.8	0.9	0.5
氷見	803.4	22.1	58.0	39.2	11.6	77.2	43.0	34.9

各府県水試調べによる (速報値)

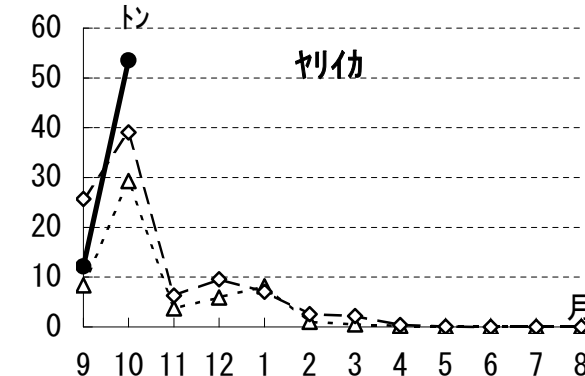
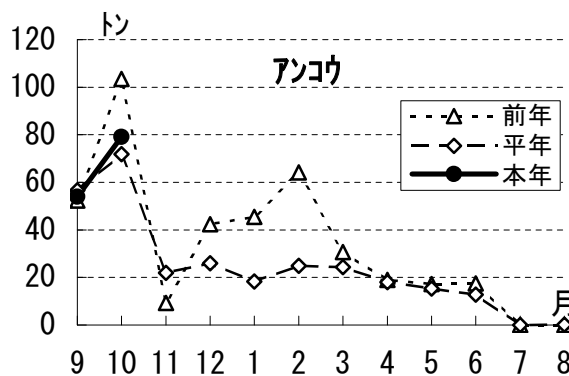
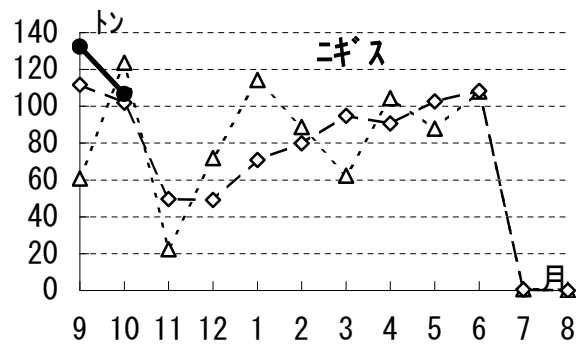
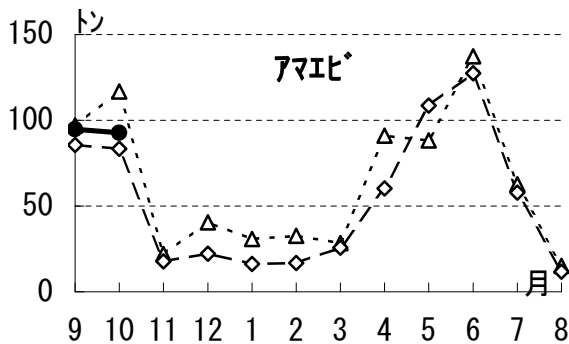


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	10月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	1,505	1,816 ▼	1,570 →	2,885	3,123 →	
ニギス	107	124 →	102 →	239	214 →	
アマヒ	93	117 ▼	83 →	188	169 →	
アンコウ	79	103 ▼	72 →	133	128 →	
ヤリカ	54	29 △	39 △	66	65 →	
ホッケ	44	97 ▼▼	29 △	66	40 △	
アカガレイ	39	24 △	28 △	93	59 △	
イカ類	28	3 △△△	14 △	31	24 △	
ムシガレイ	22	29 ▼	20 →	47	43 →	
マダラ	19	2 △△△	4 △△△	29	7 △△△	
ハタハタ	18	72 ▼▼	23 ▼	58	54 →	
ヤナギムシガレイ	17	31 ▼	21 ▼	38	42 →	
マガレイ	12	36 ▼▼	21 ▼	31	43 ▼	
ハツメ	11	1 △△△	5 △△	16	10 △	
ガスヒ	10	11 →	14 ▼	20	29 ▼	
ウマヅラハギ	10	2 △△△	5 △	13	11 △	
ヒレゴロ	8	5 △	5 △	17	10 △	
マダイ	8	9 →	7 →	15	16 →	
ソウハチ	7	6 △	7 →	19	19 →	
キダイ	6	9 ▼	7 ▼	12	18 ▼	
アカムツ	4	4 →	3 △	9	7 △	
その他	79	101 ▼	87 →	159	173 →	
合計	674	816 ▼	597 →	1,300	1,181 →	
1隻当たり	0.45	0.45 →	0.38 →	0.45	0.38 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	132	123 →	98 △		604	629 →	
ガント	483	128 △△△	266 △		1,520	905 △	
マヅ	297	106 △△	316 →		1,789	3,410 ▼	
フクラギ	172	279 ▼	349 ▼▼		697	775 →	
マサバ	159	155 →	375 ▼▼		1,744	3,466 ▼	
サワ	37	7 △△△	14 △△		48	17 △△	
その他	51	128 ▼▼	269 ▼▼		1,243	3,316 ▼▼	
合計	1,199	802 △	1,589 ▼		7,041	11,889 ▼	
1隻当たり	9	7 △	16 ▼		12	19 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	2,848	3,184 →	2,633 →		35,717	38,676 →	
ウマヅ ラハギ	40	43 →	36 →		149	160 →	
ハツメ	16	31 ▼	16 →		84	88 →	
ガント	12	4 △△△	4 △△△		37	82 ▼▼	
マダイ	6	4 △	4 △		42	51 ▼	
アマダイ類	6	8 ▼	8 ▼		70	65 →	
ウスハル	5	9 ▼	5 →		67	157 ▼▼	
フクラギ	4	3 △	2 △		429	267 △	
アコウ	4	0 △△△	1 △△△		15	34 ▼▼	
ヒラメ	4	2 △	2 △		22	17 △	
ホッケ	4	2 △	0 △△△		26	28 →	
その他	34	35 →	42 ▼		851	924 →	
合計	135	142 →	120 →		1,793	1,873 →	
1隻当たり	0.05	0.04 →	0.05 →		0.05	0.05 →	
釣り							
延隻数	2,045	1,927 →	2,178 →		10,962	12,482 →	
ガント	7	7 →	8 →		18	37 ▼▼	
ウマヅ ラハギ	6	12 ▼▼	6 →		7	20 ▼▼	
マダイ	5	4 △	7 ▼		54	50 →	
アオリイカ	4	2 △△	4 →		6	5 →	
サワ	4	3 △	1 △△△		8	1 △△△	
その他	24	22 →	38 ▼		191	322 ▼	
合計	46	47 →	62 ▼		276	435 ▼	
1隻当たり	0.02	0.02 →	0.03 ▼		0.03	0.03 ▼	
イカ釣り(小型)							
延隻数	19	14 △	129 ▼▼		3,475	5,367 ▼	
スルメイカ	10	29 ▼▼	139 ▼▼		1,212	3,265 ▼▼	
1隻当たり	0.51	2.07 ▼▼	1.07 ▼▼		0.35	0.61 ▼	

※表 (比率) の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

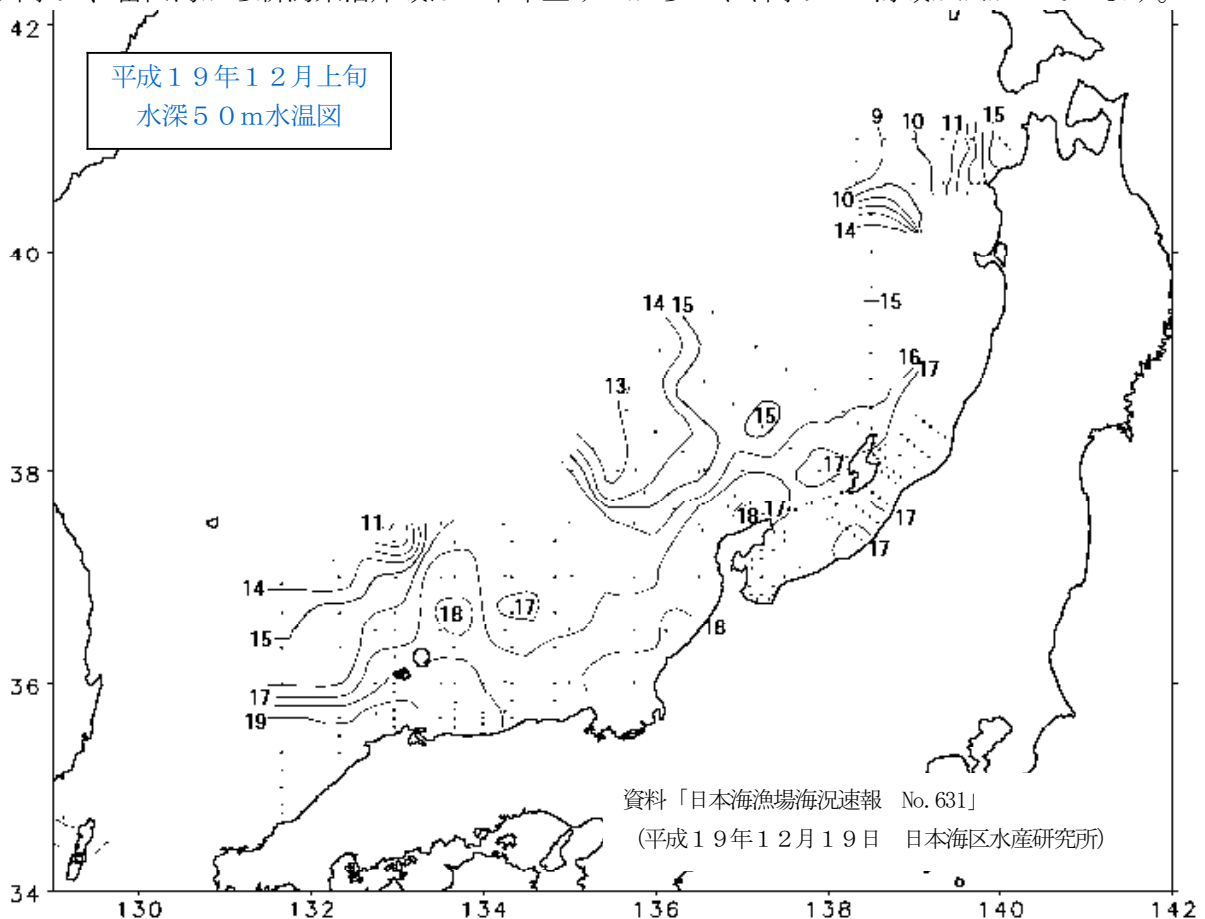
石川県水産総合センター漁海況情報 第136号

電話：0768-62-1324 http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“平年並み”から“やや高め”、能登半島外浦沖で“やや高め”から“かなり高め”、富山湾で“平年並み”。
定置網ではフクラギ・カマス・サワラが平年を上回った。
底びき網ではズワイガニ(雄)が平年並み、コウバコガニが平年を上回った。
刺網ではアンコウが平年並み。

1 水温の状況 - 12月定線観測結果 -

- (1) 本県周辺の水深50m水温は15～18℃台を示し、加賀沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、能登半島外浦沖では“やや高め”から“かなり高め”(1℃前後高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は15～17℃台を示し、加賀沖では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 加賀沖・能登半島西沖には引き続き暖水域が分布しています。能登半島北西沖には冷水域の張り出しがみられます。
- (4) 能登半島北方から佐渡島周辺にかけて水温の高い海域が見られます。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部沿岸域は“やや高め”から“かなり高め”、富山湾から新潟県沿岸域は“平年並み”から“やや高め”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 11月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,246トン**で、**平年（過去10年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはソウダガツオの341トンで、平年をやや上回りました。

フクラギは159トンで平年をやや上回りました。

カマス・サワラは平年をかなり上回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**572トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

11月6日に解禁したズワイガニ漁では、ズワイガニ（雄）が107トンで平年並み、コウバコガニが203トンで平年をやや上回りました。

ニギスは79トンで平年をやや上回りました。

アカガレイは41トンで平年をやや下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**1,927トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマサバの806トンで、平年をやや上回りました。

マアジは471トンで平年並みでした。

フクラギは330トンで平年並みでした。

【刺網】

主要10港合計は**143トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはアンコウの49トンで、平年並みでした。

ウマヅラハギ（かわはぎ）は21トンで平年をやや下回りました。

ヒラメは5トンで平年をかなり上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**75トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはフクラギの21トンで、平年をやや上回りました。

マダラは14トンで平年をやや下回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**12トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	11月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延続数	1,490	1,430 →	1,654 →		4,332	4,849 →	
マルソウダ	341	244 △	180 △		1,042	353 △△	
フクラギ	159	60 △△	93 △		610	434 △	
マアジ	144	117 △	178 ▼		494	513 →	
アカカマス	141	54 △△	70 △△		227	213 →	
サワラ	114	99 →	31 △△△		498	141 △△△△	
アオリイカ	106	84 △	73 △		168	130 △	
シイラ	43	77 ▼	83 ▼		172	273 ▼	
マダイ	20	17 △	9 △△		42	25 △	
ウマヅラハギ	18	11 △	51 ▼▼		34	104 ▼▼	
マサバ	17	35 ▼▼	23 ▼		70	116 ▼	
ウルメイワシ	9	6 △	12 ▼		18	44 ▼▼	
カタクチイシ	6	197 ▼▼	32 ▼▼		28	175 ▼▼	
ブリ	5	22 ▼▼	15 ▼▼		6	21 ▼▼	
メジ	4	3 △	8 ▼▼		35	21 △	
マイワシ	4	0 △△△	1 △△△		14	11 △	
その他	116	143 ▼	158 ▼		237	366 ▼	
合計	1,246	1,169 →	1,016 △		3,695	2,940 △	
1隻当たり	0.84	0.82 →	0.61 △		0.85	0.61 △	

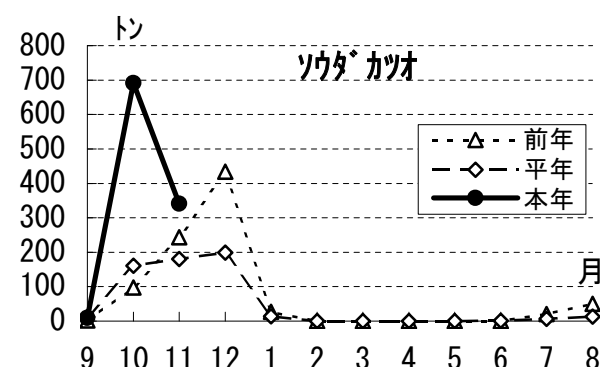
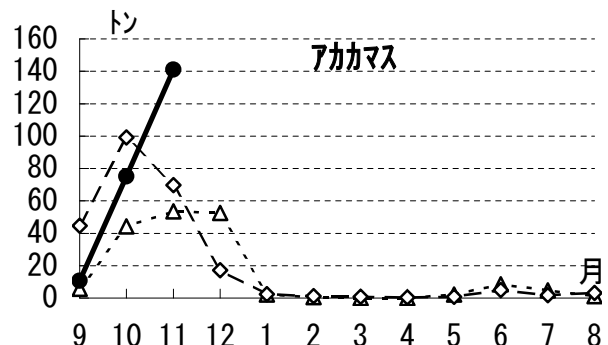
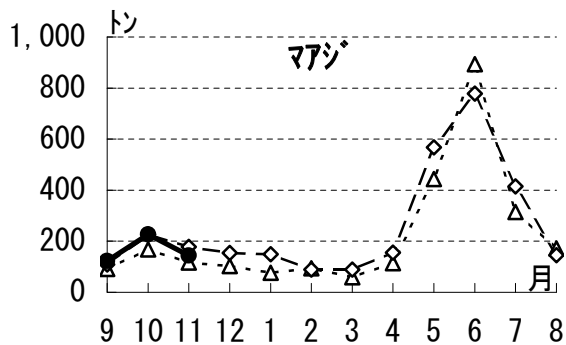
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (11月：定置網)

単位：トン

	ソウダカツオ	サワラ	アジ類	アオリイカ	シイラ	フナ類	フクラギ	マサバ
舞鶴	7.5	247.2	63.9	15.4	3.7	4.2	14.8	14.5
氷見	513.3	16.3	12.1	60.5	33.6	30.5	7.6	0.4

各府県水試調べによる (速報値)

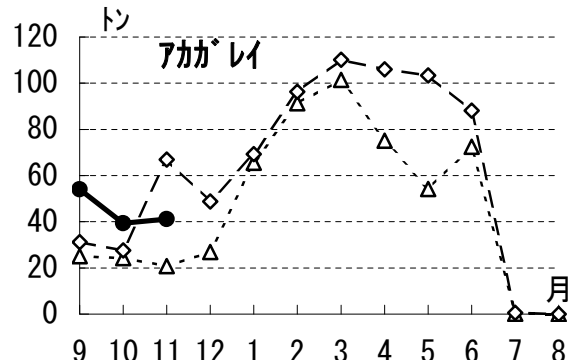
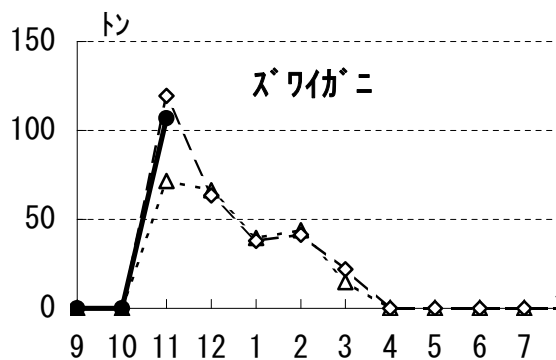
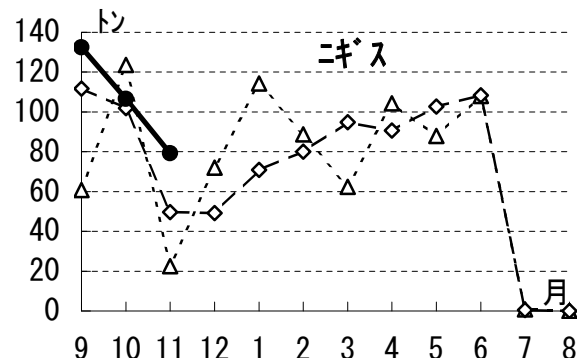
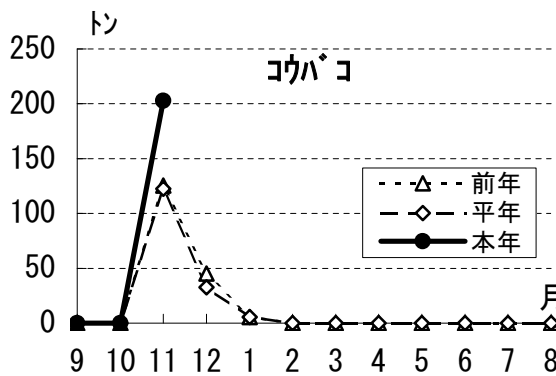


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	11月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,211	851 △	1,240 →		4,096	4,364 →	
コウハコ	203	125 △	122 △		203	122 △	
ズワイガニ	107	72 △	119 →		107	119 →	
ニギス	79	22 △△△	50 △		318	263 △	
アカガレイ	41	21 △	67 ▼		135	126 →	
アンコウ	23	9 △△	22 →		156	150 →	
アマエビ	16	22 ▼	18 →		204	187 →	
マダラ	15	8 △△	11 △		44	17 △△	
ガスイビ	10	5 △△	7 △		30	36 ▼	
ヒレグロ	8	6 △	9 →		25	20 △	
ホッケ	7	26 ▼▼	9 ▼		74	49 △	
ヤナギムシガレイ	6	3 △	6 →		44	49 →	
カニ類	6	4 △	2 △△△		11	6 △	
ヤリイカ	5	4 △	6 ▼		71	71 →	
ハツメ	4	6 ▼	10 ▼▼		20	19 →	
マダイ	2	1 △	2 →		17	18 →	
ハタハタ	2	4 ▼	1 △△		60	55 →	
ムシガレイ	2	2 →	4 ▼▼		49	47 →	
マガレイ	2	1 △	4 ▼▼		33	47 ▼	
キダイ	1	1 ▼	2 ▼▼		13	21 ▼	
貝類	1	0 △△	2 ▼▼		1	4 ▼▼	
その他	31	24 △	42 ▼		257	271 →	
合計	572	366 △	515 →		1,871	1,696 →	
1隻当たり	0.47	0.43 →	0.42 →		0.46	0.39 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	11月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	131	114 →	98 △		735	727 →	
マサバ	806	34 △△△	457 △		2,551	3,923 ▼	
マサジ	471	54 △△△	532 →		2,260	3,941 ▼	
フクラギ	330	468 ▼	319 →		1,027	1,094 →	
ガンド	236	112 △△	119 △		1,756	1,025 △	
ブリ	67	155 ▼▼	27 △△		649	273 △△	
その他	16	6 △△	58 ▼▼		725	3,145 ▼▼	
合計	1,927	829 △△	1,512 △		8,967	13,401 ▼	
1隻当たり	15	7 △△	15 →		12	18 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	11月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	2,056	1,639 △	2,078 →		37,773	40,754 →	
アソコウ	49	30 △	41 →		64	75 →	
ウマヅラハギ	21	19 →	27 ▼		170	187 →	
ヒラメ	5	1 △△△	2 △△		27	19 △	
ウスハバル	4	2 △	2 △△		72	158 ▼▼	
ハツメ	3	3 →	8 ▼▼		87	96 →	
アマダイ類	3	3 →	3 →		73	68 →	
マダイ	2	2 △	3 →		44	53 ▼	
フクラギ	2	1 △△	2 →		431	269 △	
マダコ	2	2 △	3 ▼		34	39 →	
ミスダコ	2	2 →	1 △		18	33 ▼	
その他	49	36 △	34 △		915	1,001 →	
合計	143	100 △	126 →		1,936	1,999 →	
1隻当たり	0.07	0.06 →	0.06 →		0.05	0.05 →	
釣り							
延隻数	1,712	1,147 △	1,579 →		12,674	14,061 →	
フクラギ	21	11 △	12 △		36	37 →	
マダラ	14	11 △	23 ▼		17	34 ▼▼	
ガンド	12	10 △	6 △△		31	43 ▼	
ウマヅラハギ	7	4 △	6 →		13	26 ▼	
サワ	4	3 △	1 △△△		12	2 △△△	
その他	20	15 △	30 ▼		254	372 ▼	
合計	75	50 △	76 →		351	511 ▼	
1隻当たり	0.04	0.04 →	0.05 →		0.03	0.04 ▼	
イカ釣り(小型)							
延隻数	13	17 ▼	93 ▼▼		3,488	5,459 ▼	
スルメイカ	12	33 ▼▼	220 ▼▼		1,224	3,485 ▼▼	
1隻当たり	0.91	1.93 ▼▼	2.37 ▼▼		0.35	0.64 ▼	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第137号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

定置網ではブリが平年をかなり下回り、マアジが平年並み。
底びき網ではズワイガニ(雄)が平年並み、コウバコガニが平年をやや上回った。
刺網ではマダラが平年をかなり上回った。

1 地先水温の状況（平成19年1月～12月）

平成19年に加賀市橋立港・志賀町赤住地先・能登町宇出津港・七尾市石崎港で実施した水温観測結果をお知らせします。

○冬（1月～3月） ーかなり高めー

平成19年1月～3月の平均水温は、記録的な暖冬の影響もあり、すべての観測点で平年（過去20年間の平均水温）をかなり上回りました。水温の高い状況が長期間続き、橋立港では過去20年間で2番目、志賀町地先では観測を開始した平成4年以降で最高、宇出津港では過去20年間で最高の平均水温を記録しました。

○春（4月～6月） ー平年並みー

4月の平均水温は概ね平年並みに戻り、5月・6月は平年並みなしやや低めで推移しました。

○夏（7月～9月） ー7月・8月はやや低め、9月はかなり高めー

7月・8月の平均水温は平年より低めで推移しました。しかし、9月はすべての観測点で平年をかなり上回りました。気温が平年よりかなり高い日が続き、橋立港では過去20年間で最高、志賀町地先では平成4年以降で最高、宇出津港・石崎港では過去20年間で2番目の平均水温を記録しました。

○秋（10月～12月） ーやや高めから平年並みー

10月の平均水温は平年より高めで推移しましたが、次第に平年並みに近づき、11月・12月は概ね平年並みなしやや高めで推移しました。

平成19年の石川県沿岸における地先水温と平年差

観測点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
外浦	橋立港	月平均(°C)	11.5	10.9	10.9	12.9	16.4	20.0	22.6	26.9	26.7	21.6	17.1	
		平年差(°C)	0.7	1.2	0.4	-0.4	-0.5	-0.7	-2.5	-0.5	1.9	0.7	0.1	
		評価	△	△△	→	→	▼	▼	▼▼▼	→	△△	△	→	
外浦	志賀町地先	月平均(°C)	11.4	10.6	10.3	12.1	15.9	19.5	22.5	26.2	25.9	21.2	17.1	13.1
		平年差(°C)	1.0	1.4	0.4	-0.1	0.2	0.0	-1.1	0.1	1.9	0.9	0.4	-0.1
		評価	△△	△△△	△	→	→	→	▼	→	△△	△	→	→
内浦	宇出津港	月平均(°C)	13.7	12.2	11.5	12.4	15.3	20.1	22.8	26.5	26.8	23.1	19.2	16.1
		平年差(°C)	1.9	1.9	1.3	0.6	-0.3	0.2	-0.8	-0.4	1.7	1.6	1.1	1.2
		評価	△△	△△△	△△△	△	→	→	▼	→	△△	△△	△	△
七尾湾	石崎港	月平均(°C)	9.4	9.0	9.4	13.0	17.1	22.6	24.1	27.9	26.6	20.4	14.7	10.6
		平年差(°C)	1.2	0.8	-0.3	-0.4	0.0	1.0	-0.8	-0.3	1.5	0.1	-1.1	-0.3
		評価	△△	△	→	→	→	△△	▼	→	△△	→	▼	→

平年差は過去20年間の平均水温との差
(志賀町については過去16年間の平均を用いた。)

凡 例			
△△△	はなはだ高い	▼	やや低い
△△	かなり高い	▼▼	かなり低い
△	やや高い	▼▼▼	はなはだ低い
→	平年並み		

2 漁獲の動向 — 12月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**828トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはソウダガツオの246トンで、平年をやや上回りました。
ブリは30トンで平年をかなり下回りました。マアジは133トンで平年並みでした。

【底びき網】

主要10港合計は**405トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはニギスの85トンで、平年をやや上回りました。
ズワイガニ（雄）は64トンで平年並み、コウバコガニは49トンで平年をやや上回りました。アカガレイは37トンで平年をやや下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**411トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマサバの133トンで、平年をかなり下回りました。
ブリは114トンで平年をかなり上回りました。フクラギは86トンで平年をやや下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**117トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマダラの38トンで、平年をかなり上回りました。
アンコウは24トンで平年をやや下回りました。アカガレイは10トンで平年をやや上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は56トンで、平年並みの漁獲量でした。
最も多く漁獲されたのはフクラギの21トンで、平年をかなり上回りました。
マダラは16トンで平年をやや下回りました。
いか釣り（小型）の主要10港合計は19トンで、平年をかなり下回る漁獲量でした。

■■■ 寒ブリの水揚げ状況（1月中旬までの速報値） ■■■

石川県沿岸の定置網漁業では寒ブリの盛漁期を迎えていますが、12月の漁獲量は30トンで、前年比10%、平年（過去10カ年平均）比15%と低調に推移しました。

近県の12月の漁獲量をみると、福井県では平年並みでしたが、新潟県・富山県・京都府では、本県と同様に平年をかなり下回りました。

1月以降も、石川県・新潟県・富山県では平年をかなり下回って推移しています。

各府県の定置網漁業によるブリの漁獲量

	12月の漁獲量（トン）					1月の速報値（トン）	
	本年	前年	前年比	平年	平年比		
石川県						1月20日まで	
蛸島港	1	62	1%	12	6%	2	
宇出津港	19	131	14%	83	23%	14	
七尾地区	10	110	9%	110	9%	15	
計	30	303	10%	205	15%	31	
新潟県	12	46	25%	262	4%	25	1月18日まで
富山県	15	125	12%	216	7%	3	1月10日まで
福井県	5	7	74%	6	81%	13	1月17日まで
京都府	2	2	90%	22	8%	86	1月20日まで

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	12月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延続数	1,466	1,529 →	1,690 →	5,798	6,539 →	
マルソウダ	246	434 ▼	199 △	1,288	552 △△	
マアジ	133	103 △	154 →	627	667 →	
フクラギ	65	132 ▼▼	100 ▼	675	533 △	
アオリイカ	48	26 △	28 △	217	158 △	
シイラ	44	41 →	29 △	216	302 ▼	
マサバ	36	42 →	34 →	106	150 ▼	
ブリ	30	303 ▼▼	206 ▼▼	36	227 ▼▼	
メジ	28	17 △	22 △	63	43 △	
ウマヅラハギ	20	22 →	81 ▼▼	54	185 ▼▼	
サワラ	19	36 ▼	12 △	517	154 △△△	
アカマス	14	52 ▼▼	17 →	241	231 →	
マダイ	13	28 ▼▼	14 →	55	39 △	
ウルメイワシ	10	9 →	16 ▼	28	60 ▼▼	
スルメイカ	7	13 ▼	18 ▼▼	10	27 ▼▼	
ソデイカ	4	8 ▼▼	9 ▼▼	6	27 ▼▼	
その他	111	1,039 ▼▼	213 ▼	385	738 ▼	
合計	828	2,306 ▼▼	1,151 ▼	4,523	4,091 →	
1隻当たり	0.57	1.51 ▼▼	0.68 ▼	0.78	0.63 △	

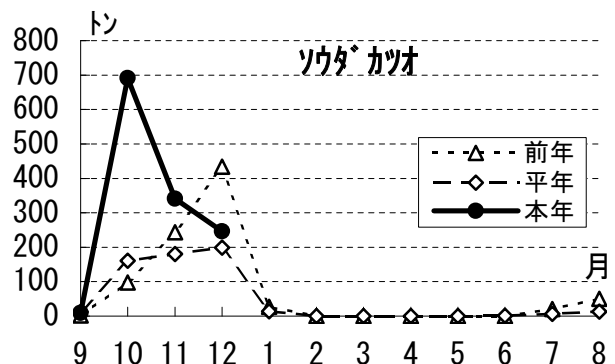
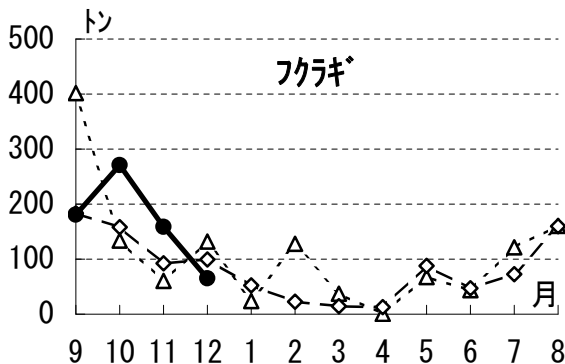
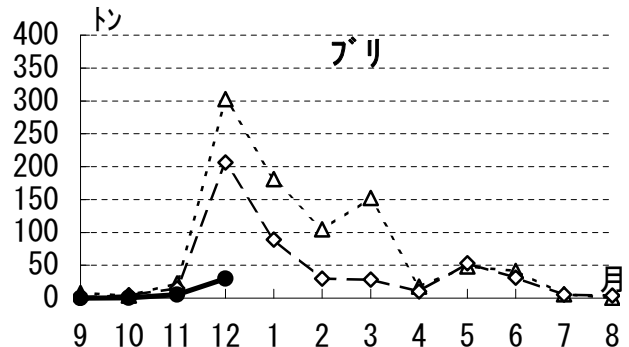
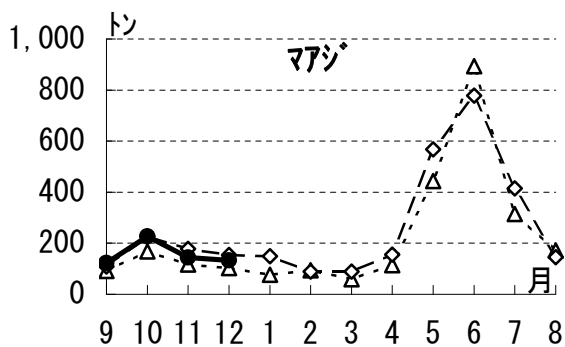
平年値は過去10年平均

単位：トン

他府県漁獲状況 (12月：定置網)

	ソウダカツオ	サワラ	フクラギ	サンマ	マサバ	アオリイカ	アジ類	マクロメジ類
舞鶴	55.4	324.3	68.4	22.8	23.5	13.2	28.3	1.4
氷見	376.9	2.5	14.7	37.3	22.0	30.2	14.8	40.3

各府県水試調べによる (速報値)

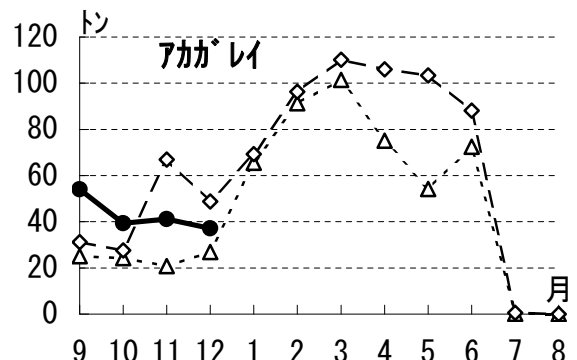
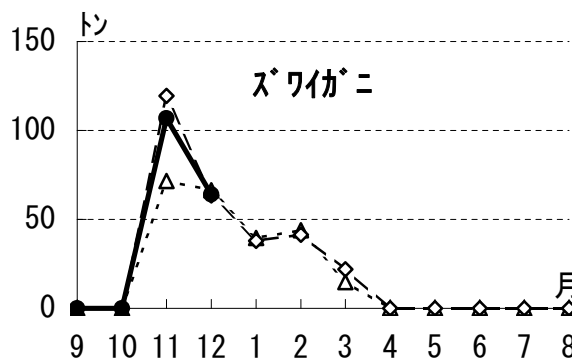
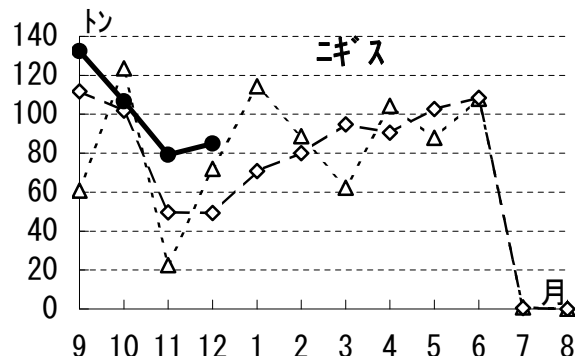
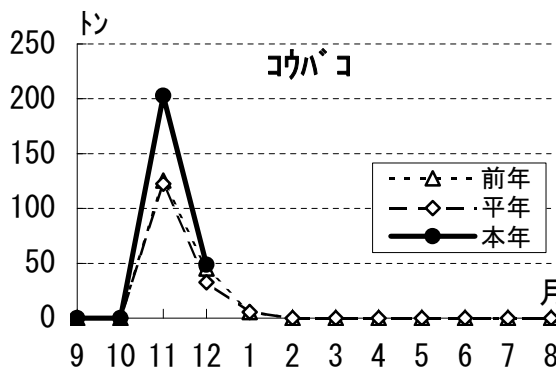


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
延隻数	1,098	1,236 →	1,098 →	5,194	5,462 →		
ニギス	85	72 →	49 △	403	313 △		
ズワイガニ	64	66 →	63 →	171	183 →		
コウバコ	49	45 →	33 △	252	155 △		
アカガレイ	37	27 △	49 ▼	172	175 →		
アンコウ	25	42 ▼	26 →	181	176 →		
アマエビ	24	40 ▼	22 →	228	209 →		
マダラ	17	7 △△	7 △△	61	24 △△		
ガスエビ	11	11 →	15 ▼	41	51 ▼		
ハタハタ	7	0 △△△	1 △△△	67	56 →		
ヤナギムシガレイ	6	11 ▼▼	5 →	50	54 →		
ハツメ	5	4 △	7 ▼	26	27 →		
ホッケ	5	5 →	5 →	79	53 △		
ウマヅラハギ	5	0 △△△	6 →	19	18 →		
ミスガニ	5	5 →	4 →	5	5 →		
ヒレグロ	4	7 ▼	7 ▼	29	26 →		
ヤリイカ	3	6 ▼	10 ▼▼	74	81 →		
カニ類	3	5 ▼	2 △	14	8 △		
ソウハチ	3	1 △△	4 ▼	22	26 →		
マガレイ	3	4 ▼	4 ▼	35	51 ▼		
マダイ	2	1 △	4 ▼	19	22 →		
その他	44	59 ▼	62 ▼	331	369 →		
合計	405	421 →	385 →	2,276	2,081 →		
1隻当たり	0.37	0.34 →	0.35 →	0.44	0.38 →		

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	111	93 →	67 △		846	794 →	
マサバ	133	238 ▼	637 ▼▼		2,684	4,560 ▼	
ブリ	114	148 ▼	26 △△△		763	299 △△	
フクラギ	86	235 ▼▼	115 ▼		1,051	1,127 →	
ガンド	66	19 △△△	42 △		1,822	1,067 △	
マヅ	8	186 ▼▼	316 ▼▼		2,268	4,258 ▼	
その他	4	35 ▼▼	42 ▼▼		790	3,269 ▼▼	
合計	411	862 ▼▼	1,178 ▼▼		9,378	14,579 ▼	
1隻当たり	4	9 ▼▼	18 ▼▼		11	18 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	1,695	1,976 →	1,658 →		39,468	42,411 →	
マダラ	38	100 ▼▼	16 △△		147	81 △	
アンコウ	24	19 △	40 ▼		88	116 ▼	
アカガレイ	10	5 △	5 △		77	57 △	
ウマヅラハギ	9	12 ▼	12 ▼		179	199 →	
フクラギ	4	2 △	2 △△		435	271 △	
ガンド	4	8 ▼▼	5 ▼		41	88 ▼▼	
マダコ	3	2 △	3 →		37	42 →	
メダイ	3	4 ▼	5 ▼		35	50 ▼	
ミスダコ	3	4 ▼	6 ▼▼		21	39 ▼	
サザエ	2	2 →	2 △		165	152 →	
その他	19	28 ▼	21 →		828	1,021 ▼	
合計	117	186 ▼	116 →		2,053	2,115 →	
1隻当たり	0.07	0.09 ▼	0.07 →		0.05	0.05 →	
釣り							
延隻数	1,171	778 △	860 △		13,845	14,921 →	
フクラギ	21	11 △	10 △△		58	47 △	
マダラ	16	27 ▼	19 ▼		32	53 ▼	
サワラ	4	1 △△△	0 △△△		16	3 △△△	
メジ	3	0 △△△	5 ▼		9	20 ▼▼	
マサバ	3	0 △△△	3 →		5	11 ▼▼	
その他	9	13 ▼	20 ▼▼		288	435 ▼	
合計	56	53 →	58 →		407	570 ▼	
1隻当たり	0.05	0.07 ▼	0.07 ▼		0.03	0.04 ▼	
イカ釣り(小型)							
延隻数	19	82 ▼▼	77 ▼▼		3,507	5,536 ▼	
スルメイカ	19	93 ▼▼	102 ▼▼		1,243	3,586 ▼▼	
1隻当たり	0.99	1.13 →	1.32 ▼		0.35	0.65 ▼	

※表(比率)の見方

▼▼▼	~ 50%	△	120~199%
▼▼	51~ 83%	△△	200~299%
→	84~119%	△△△	300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第138号

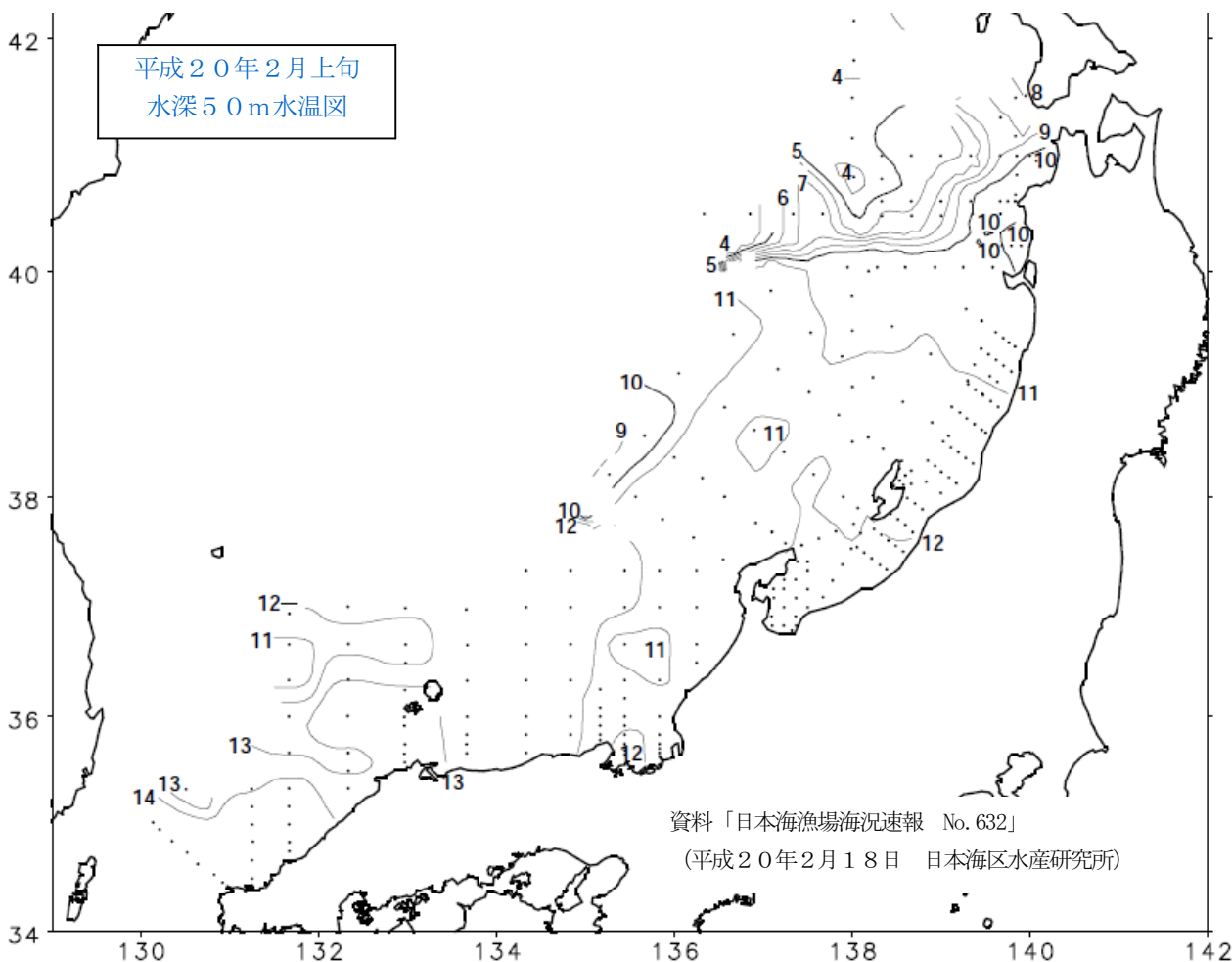
電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“やや低め”、能登半島外浦沖で“平年並み”、富山湾で“やや高め”。

定置網ではメジが平年をかなり上回り、スルメイカが平年をかなり下回った。底びき網ではズワイガニ(雄)が平年並み、アマエビが平年をかなり上回った。刺網ではフクラギが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 - 2月定線観測結果 -

- (1) 本県周辺の水深50m水温は11～12℃台を示し、加賀沖では“やや低め(0～1℃低め)”、能登半島外浦沖では“平年並み”、富山湾では“やや高め(0～1℃高め)”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は11～12℃台を示し、加賀沖・能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”、富山湾では“かなり高め(1～2℃高め)”の水温分布を示しています。
- (3) 冷水域の接岸状況は、加賀沖で平年よりかなり岸寄り、能登半島外浦沖で平年並みとなっています。
- (4) 富山湾から佐渡島周辺にかけて水温の高い海域が広がっています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部沿岸域は“平年並み”から“やや高め”、新潟県以北の沿岸域は“平年並み”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 1月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**480トン**で、**平年（過去10カ年平均）をかなり下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマアジの109トンで、平年をやや下回りました。
ブリは64トンで平年をやや下回りました。
メジは62トンで平年をかなり上回り、過去10年間で最も多い漁獲量となりました。
スルメイカは19トンで平年をかなり下回り、不漁であった前年をさらに下回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**545トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはニギスの108トンで、平年をやや上回りました。
ハタハタは85トンで、橋立港・金沢港などで平年をやや上回りました。
アマエビは39トンで平年をかなり上回りました。
ズワイガニ（雄）は36トンで平年並みでした。

【まき網】

主要10港合計は**1,051トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマアジの511トンで、平年をかなり上回りました。
マサバは493トンで平年をやや下回りました。
フクラギは34トンで平年をかなり上回りました。

【刺網】

主要10港合計は**204トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはフクラギの77トンで、平年をかなり上回りました。漁獲量の大部分が輪島地区でした。
マダラは36トンで平年並みでした。
ウマヅラハギ（かわはぎ）は21トンで平年をかなり上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**29トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはフクラギの11トンで、平年をかなり上回りました。
マサバは6トンで平年をやや上回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**4トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	1月漁獲量(トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延続数	1,279	1,264 →	1,391 →	7,077	7,930 →	
マアジ	109	77 △	149 ▼	736	815 →	
ブリ	64	181 ▼▼	89 ▼	100	316 ▼▼	
メジ	62	13 △△△	18 △△△	125	61 △△	
マルソウダ	32	27 →	14 △△	1,320	566 △△	
ウマツラハキ	30	75 ▼▼	199 ▼▼	85	383 ▼▼	
フクラギ	26	24 →	52 ▼	702	585 →	
ヤリカ	21	41 ▼	20 →	25	25 →	
スルメイカ	19	25 ▼	120 ▼▼	29	147 ▼▼	
マダイ	13	6 △△	6 △△	68	45 △	
サワラ	10	6 △	3 △△△	527	157 △△△	
ウルメイワシ	10	10 →	26 ▼▼	38	86 ▼▼	
マサバ	7	7 →	61 ▼▼	113	211 ▼	
アオリカ	6	3 △	5 △	223	163 △	
マイワシ	0	11 ▼▼	25 ▼▼	15	37 ▼▼	
カクチイワシ	0	447 ▼▼	67 ▼▼	28	353 ▼▼	
その他	68	83 ▼	109 ▼	869	1,105 ▼	
合計	480	1,036 ▼▼	962 ▼▼	5,003	5,054 →	
1隻当たり	0.38	0.82 ▼▼	0.69 ▼	0.71	0.64 →	

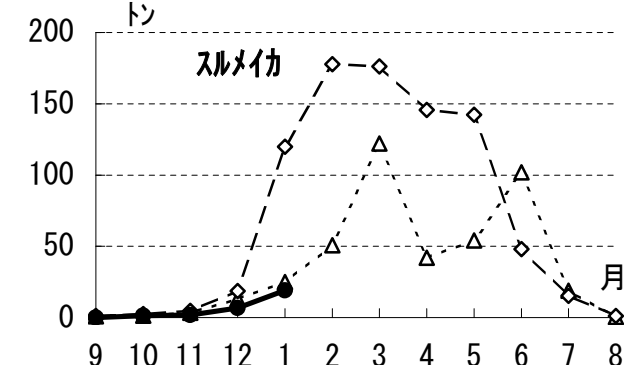
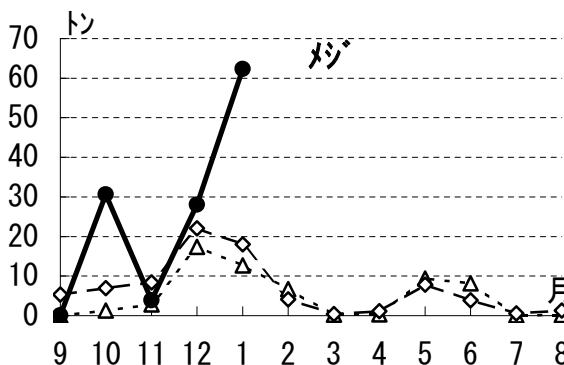
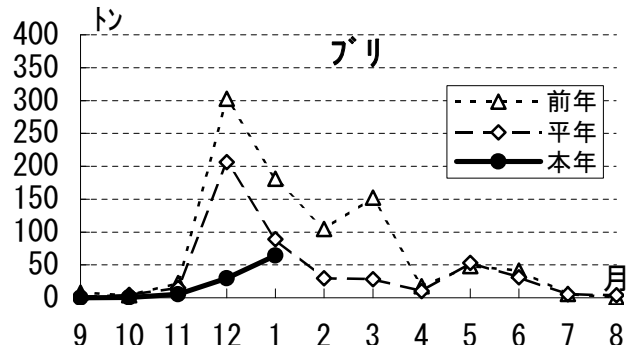
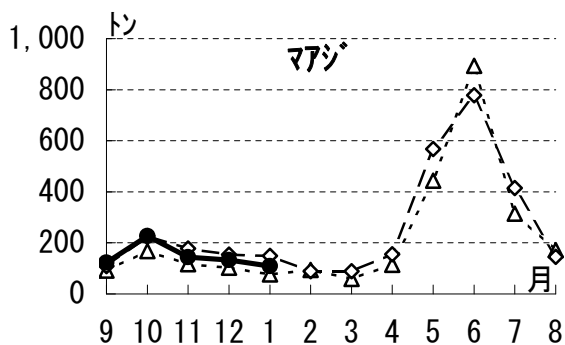
平年値は過去10年平均

単位：トン

他府県漁獲状況 (1月：定置網)

	サワラ	マクロ・メジ類	ブリ・ガント	アジ類	マサバ	フクラギ	ソウダカツオ	カワハギ類
舞鶴	149.4	9.5	87.9	49.4	52.3	25.0	2.5	9.2
氷見	0.0	107.9	22.5	20.1	1.4	11.8	30.7	9.8

各府県水試調べによる (速報値)

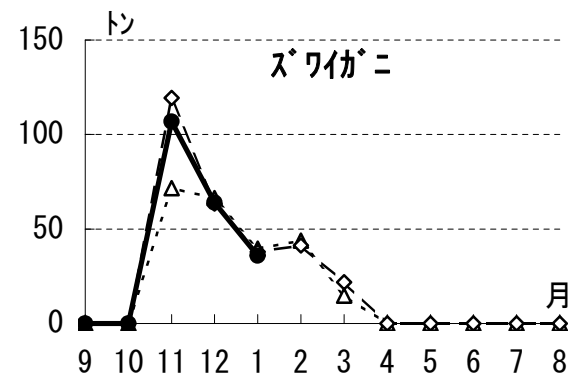
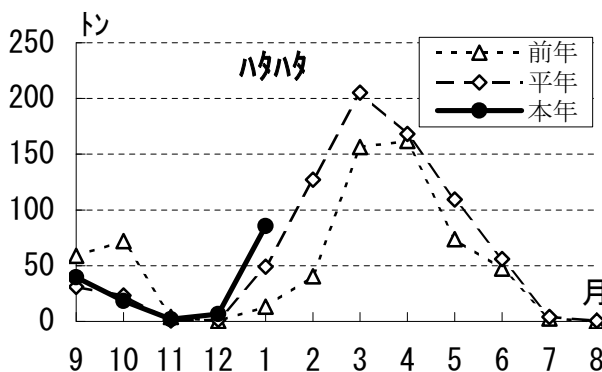
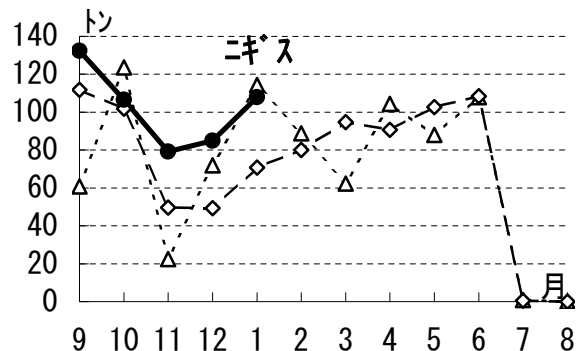
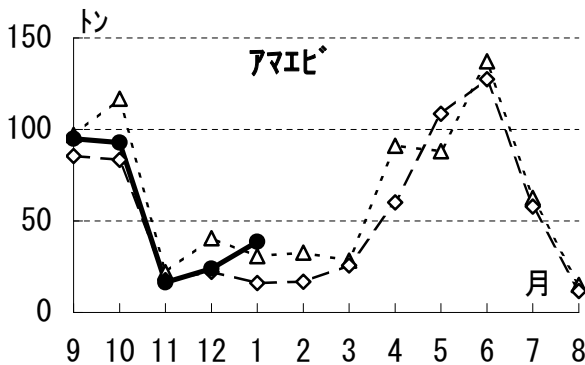


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	1月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	913	1,084 →	884 →	6,107	6,346 →	
ニギス	108	114 →	71 △	511	383 △	
ハタハタ	85	13 △△△	49 △	152	105 △	
アカガレイ	78	65 →	69 →	250	244 →	
アマエビ	39	31 △	16 △△	267	225 →	
アンコウ	37	45 ▼	18 △△	218	194 →	
スワカニ	36	40 →	38 →	207	221 →	
ガスエビ	17	24 ▼	19 →	58	70 ▼	
マダラ	15	8 △	8 △	75	32 △△	
ミスガニ	13	16 ▼	11 →	17	15 →	
コウバコ	7	6 △	6 △	259	161 △	
ソウハチ	6	9 ▼	8 ▼	29	34 →	
ヒレゴロ	6	7 ▼	7 →	34	33 →	
ヤキムシガレイ	5	7 ▼	4 △	55	57 →	
ムシガレイ	5	5 →	2 △△	56	52 →	
マガレイ	4	6 ▼	3 △	39	54 ▼	
ホタルカ	4	26 ▼▼	11 ▼▼	5	12 ▼▼	
ヤリカ	3	8 ▼▼	7 ▼▼	77	88 →	
カニ類	3	4 →	2 △	17	10 △	
ウマヅラハギ	3	3 →	5 ▼	22	23 →	
ヒラメ	3	2 →	1 △	5	4 →	
その他	68	65 →	61 →	469	478 →	
合計	545	503 →	415 △	2,821	2,497 →	
1隻当たり	0.60	0.46 △	0.47 △	0.46	0.39 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	1月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	73	44 △	39 △	73	39 △	
マヅ	511	105 △△△	211 △△	511	211 △△	
マサバ	493	121 △△△	831 ▼	493	831 ▼	
フクラギ	34	20 △	17 △△	34	17 △△	
ガント	9	--	2 △△△	9	2 △△△	
サワ	2	0 △△△	0 △△△	2	0 △△△	
その他	2	1 △△	78 ▼▼	2	78 ▼▼	
合計	1,051	247 △△△	1,138 →	1,051	1,138 →	
1隻当たり	14	6 △△	29 ▼▼	14	29 ▼▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	1月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
刺網漁業						
延隻数	1,709	1,635 →	1,384 △	1,709	1,384 △	
フクラギ	77	7 △△△	27 △△	77	27 △△	
マダラ	36	48 ▼	31 →	36	31 →	
ウマヅラハギ	21	19 →	9 △△	21	9 △△	
アカガレイ	17	13 △	12 △	17	12 △	
ハツメ	8	3 △△	3 △△△	8	3 △△△	
ガント	6	9 ▼	13 ▼▼	6	13 ▼▼	
メダイ	4	2 △△	8 ▼	4	8 ▼	
アンコウ	4	4 →	13 ▼▼	4	13 ▼▼	
ミズダコ	3	4 →	5 ▼	3	5 ▼	
マダコ	3	2 △	2 △	3	2 △	
その他	25	21 →	21 →	25	21 →	
合計	204	132 △	144 △	204	144 △	
1隻当たり	0.12	0.08 △	0.10 →	0.12	0.10 →	
釣り						
延隻数	547	485 →	484 →	547	484 →	
フクラギ	11	0 △△△	1 △△△	11	1 △△△	
マサバ	6	0 △△△	5 △	6	5 △	
トラフグ	2	1 △△	0 △△△	2	0 △△△	
ウマヅラハギ	1	0 △△△	0 △△△	1	0 △△△	
マダラ	1	1 ▼▼	9 ▼▼	1	9 ▼▼	
その他	9	8 →	6 △	9	6 △	
合計	29	11 △△	21 △	29	21 △	
1隻当たり	0.05	0.02 △△	0.04 △	0.05	0.04 △	
イカ釣り(小型)						
延隻数	20	40 ▼▼	39 ▼	20	39 ▼	
スルメイカ	4	17 ▼▼	16 ▼▼	4	16 ▼▼	
1隻当たり	0.19	0.43 ▼▼	0.41 ▼▼	0.19	0.41 ▼▼	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

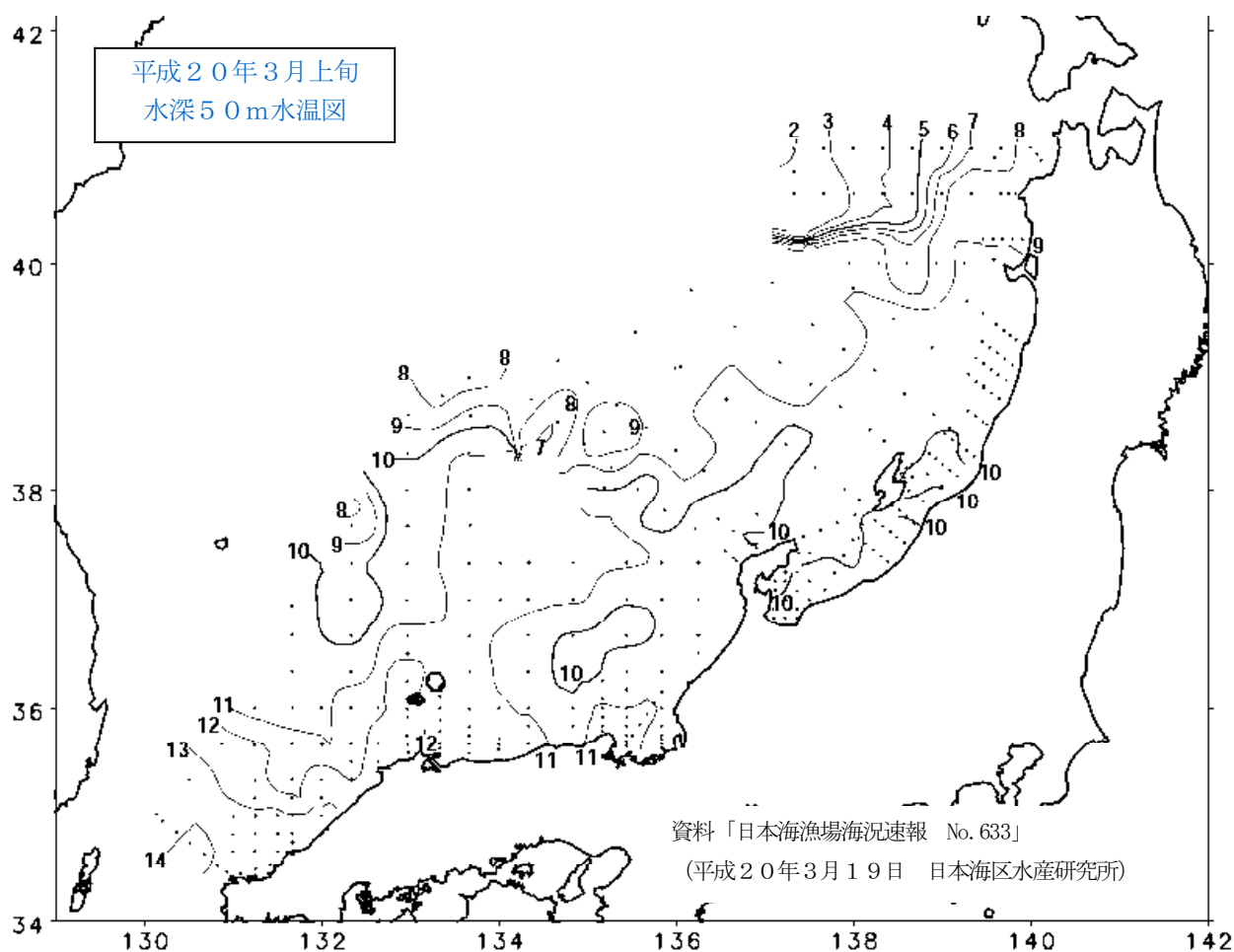
石川県水産総合センター漁海況情報 第139号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖、能登半島外浦沖、富山湾で“平年並み”。定置網ではブリが平年をかなり上回り、スルメイカが平年をやや下回った。底びき網ではハタハタが平年をやや上回り、ズワイガニが平年並み。刺網ではフクラギが平年並み。

1 水温の状況 — 3月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は9～10℃台を示し、加賀沖、能登半島外浦沖、富山湾はいずれも“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は9～10℃台を示し、加賀沖、能登半島外浦沖、富山湾はいずれも“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 冷水域の接岸状況は、加賀沖で平年よりかなり岸寄り、能登半島外浦沖で平年並みとなっています。
- (4) 佐渡島北方沖には水温の高い海域が広がっています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部・北部とも沿岸域は“平年並み”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 2月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**665トン**で、**平年（過去10カ年平均）並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの124トンで、平年をやや上回りました。

ブリは112トンで平年をかなり上回りました。

スルメイカは99トンで平年をやや下回りました。今漁期（1月以降）の累計は118トンで、平年の40%と低調に推移しています。

【底びき網】

主要10港合計は**473トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはハタハタの185トンで、平年をやや上回りました。橋立港・金沢港では1月以降、好漁が続いています。

ニギスは51トンで平年をやや下回りました。

ズワイガニ（雄）は35トンで平年並みでした。

アマエビは10トン、ホタルイカは14トンで、いずれも平年を下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**2,065トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマサバの1,114トンで、平年をやや上回りました。

マアジは939トンで平年をかなり上回りました。

【刺網】

主要10港合計は**184トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはフクラギの93トンで、平年並みでした。漁獲量の大部分が輪島地区でした。

マダラは19トンで平年をやや下回りました。平成16年漁期以降、マダラの漁獲量は増加傾向にありました。しかし、今漁期（12月以降）の累計は92トンで、前年の53%となりました。

アカガレイは12トンで平年をやや下回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**4トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマサバの1トンで、平年をやや下回りました。

ウスメバルは1トンで平年をかなり下回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**10トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

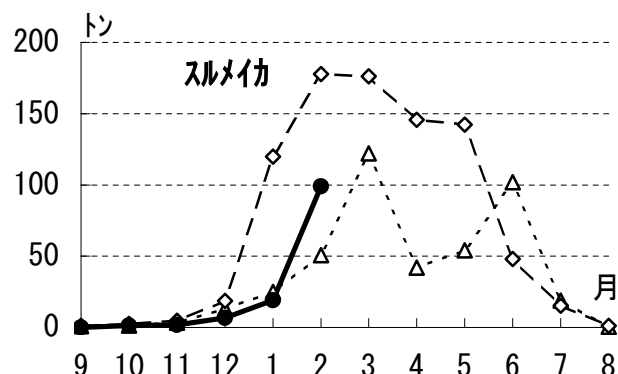
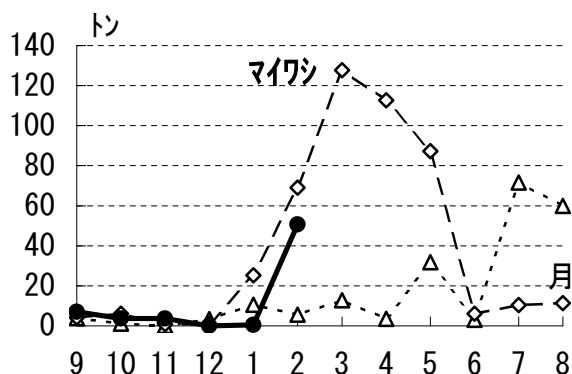
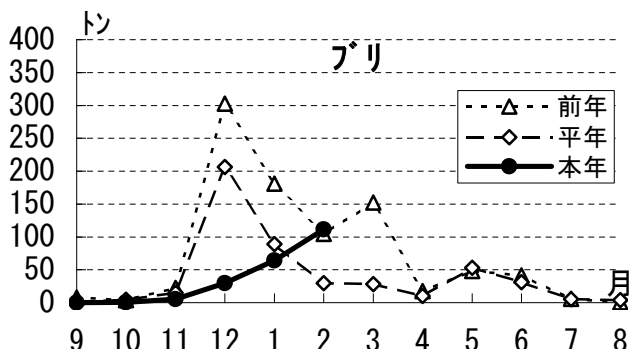
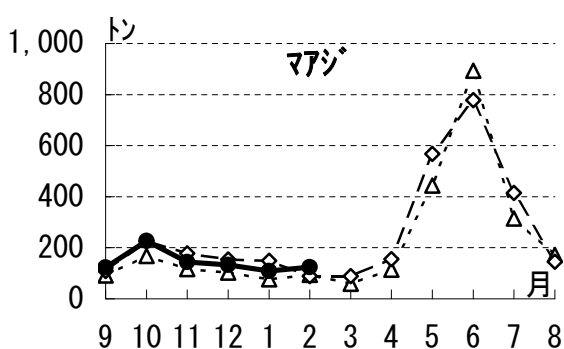
	2月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,296	1,174 →	1,338 →	8,373	9,268 →	
マアジ	124	93 △	89 △	860	904 →	
ブリ	112	105 →	30 △△△	212	346 ▼	
スルメイカ	99	51 △	178 ▼	128	324 ▼▼	
マイワシ	51	6 △△△	69 ▼	65	106 ▼	
カタチイワシ	47	140 ▼▼	76 ▼	75	429 ▼▼	
ウマヅラハキ	37	11 △△△	47 ▼	122	430 ▼▼	
マサバ	37	48 ▼	47 ▼	150	258 ▼	
ウルメイワシ	32	12 △△	86 ▼▼	70	171 ▼▼	
ヤリイカ	19	25 ▼	17 →	43	42 →	
マダイ	10	1 △△△	2 △△△	79	47 △	
アンコウ	5	4 △	4 △	9	9 →	
メジ	5	7 ▼	4 →	130	65 △	
サワラ	4	1 △△△	1 △△△	532	158 △△△	
マダラ	4	4 ▼	6 ▼	4	7 ▼	
フクラギ	3	128 ▼▼	22 ▼▼	705	608 →	
その他	77	41 △	91 →	2,484	1,918 △	
合計	665	675 →	769 →	5,668	5,823 →	
1隻当たり	0.51	0.57 →	0.57 →	0.68	0.63 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (2月：定置網)

	スルメイカ	アジ類	サワラ	マサバ	サンマ	カタチイワシ	ヤリイカ	マイワシ
舞鶴	0.0	35.1	81.5	21.7	47.6	13.2	9.3	0.4
氷見	200.8	52.7	0.0	45.2	0.0	29.1	14.2	14.8

各府県水試調べによる (速報値)



定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化